



名古屋銀行

Information Meeting

～平成28年3月期決算概要と経営戦略～

平成28年6月6日

株式会社 名古屋銀行
取締役頭取 中村 昌弘

目次

はじめに

地域経済の見通し	4
----------	---

I. 決算概要

(1) 決算概要	6
(2) 収益の状況	7
(3) 主要残高(貸出金と預金)	8
(4) 役務取引等利益の状況	9
(5) 有価証券の状況	10
(6) 与信コストの状況	11
(7) 不良債権の状況	12
(8) 営業経費とOHRの状況	13
(9) リスク管理の状況	14
(10) 自己資本比率と配当の状況	15

II. 今後の愛知県について

(1) 愛知県の人口動態	17
(2) 魅力的なマーケット“愛知県”	18

III. 経営戦略

(1) 今年度の業績見通し	20
(2) 第19次経営計画	21
(3) BPR戦略	22
(4) BPR戦略 3年間の取組み	23
(5) 法人戦略	24
(6) 個人戦略	27
(7) 第19次経営計画2年目の成果	30
(8) 有価証券運用戦略	31
(9) 高まる女性の存在感	32
(10) 映像による積極的な 顧客サポートのご紹介	



はじめに

はじめに（地域経済の見通し）

平成28年

増加

生産

輸出

設備投資

改善・持ち直し

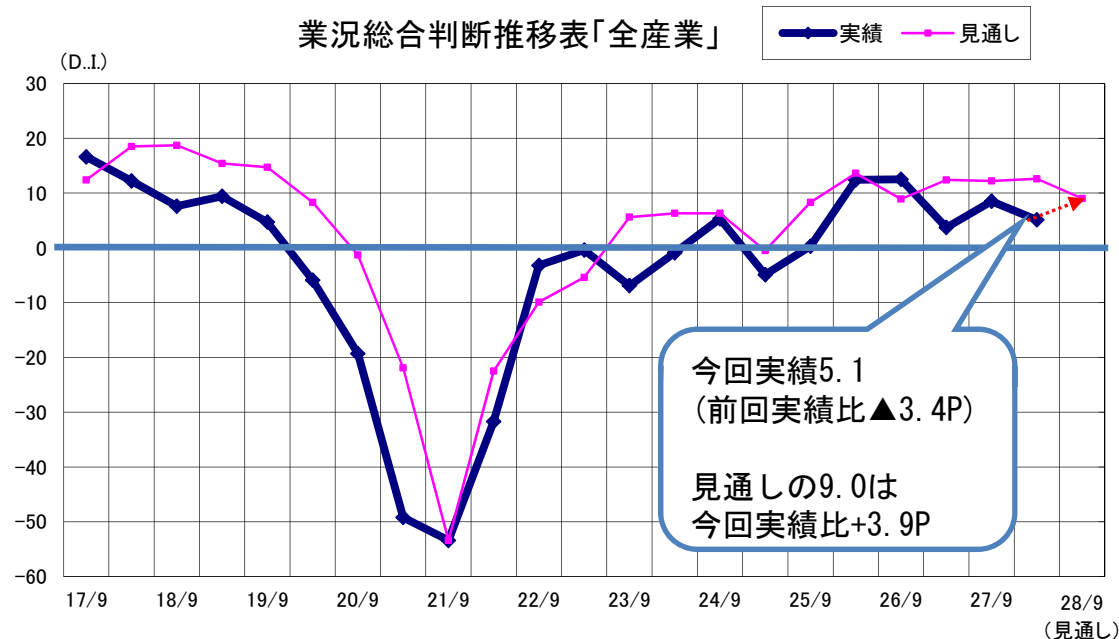
雇用・所得

個人消費

住宅投資

（出所：日本銀行名古屋支店 4/6東海3県の金融経済動向より）

第132回 企業経営動向調査



<項目別のD. I. >

【売上高】

D. I. は8.4と好転。

【販売価格】

D. I. は▲3.7と悪化。

【収益】

D. I. は7.4と好転。

※平成28年3月上旬弊行実施
※名古屋を中心に3,091社対象
1,170社（37.9%）から回答

(注)「D. I.」:
前期比『好転』企業の割合と
『悪化』企業の割合の差
(平成28年4月～9月は見通し)

I . 決算概要

I. 決算概要 (1) 決算概要

平成28年3月期決算概要

(単位: 億円)

[単体]	H26/3期末	H27/3期末	H28/3期末	増減
業務粗利益	411	392	383	▲8
資金利益	351	336	323	▲12
役務取引等利益	51	46	51	5
その他業務利益	8	9	7	▲1
営業経費	320	318	305	▲13
人件費	190	182	172	▲9
物件費	116	121	116	▲4
税金	14	15	16	1
業務純益	90	73	77	4
コア業務純益	85	66	72	6
貸倒償却引当費用	2	▲29	▲19	9
株式等関係損益	5	1	6	5
経常利益	89	101	101	▲0
特別損益	▲3	▲0	0	1
当期純利益	50	62	66	4

[連結] 当期純利益	54	67	69	2
------------	----	----	----	---

【平成28年3月期決算概要】

業務粗利益 383億円 (前期比▲8億円)

- ⇒ 資金利益は、貸出金利息の減少 (13億円) が要因
※貸出金平残は645億円増加も、利回りが0.10%低下
- ⇒ 役務取引等利益は、ローン関係手数料 (1億円)
および生命保険代理店手数料の増加 (1億円) が要因

営業経費 305億円 (前期比▲13億円)

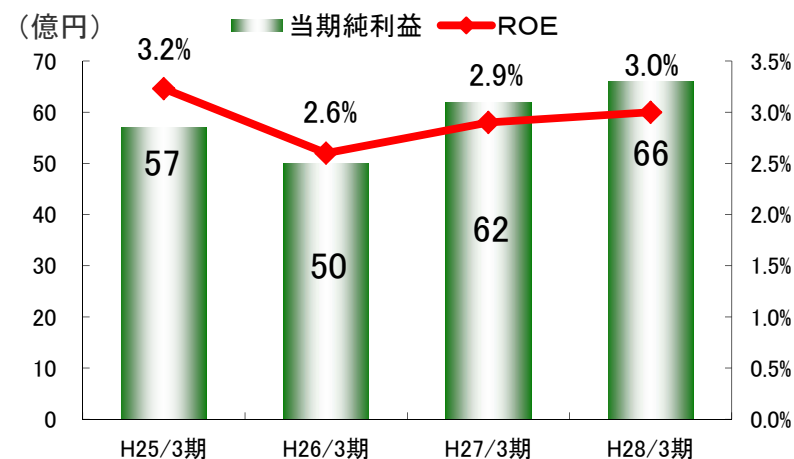
- ⇒ 人件費は退職給付引当費用の減少が主な要因
物件費は預金保険料率の引き下げが主な要因

経常利益 101億円 (前期比▲0億円)

- ⇒ 貸倒償却引当費用の戻入 (19億円)

当期純利益 66億円 (前期比+4億円)

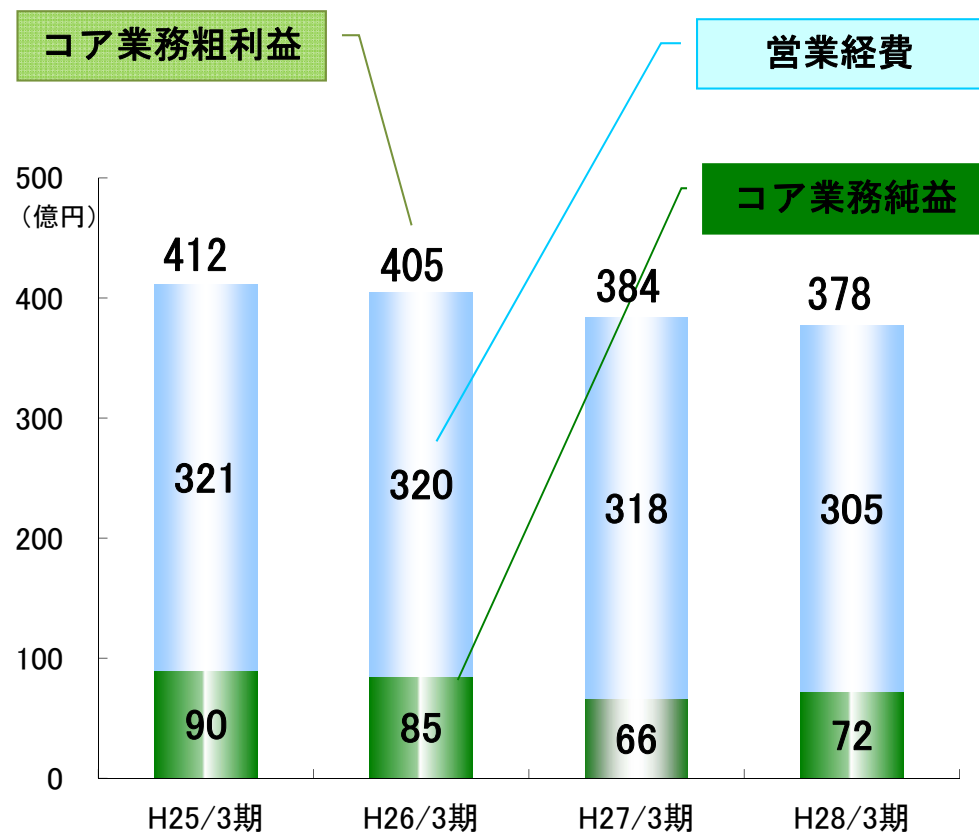
当期純利益とROE (単体)



※ ROE = 当期純利益 / 純資産 (期首・期末残高平均)

I. 決算概要 (2) 収益の状況

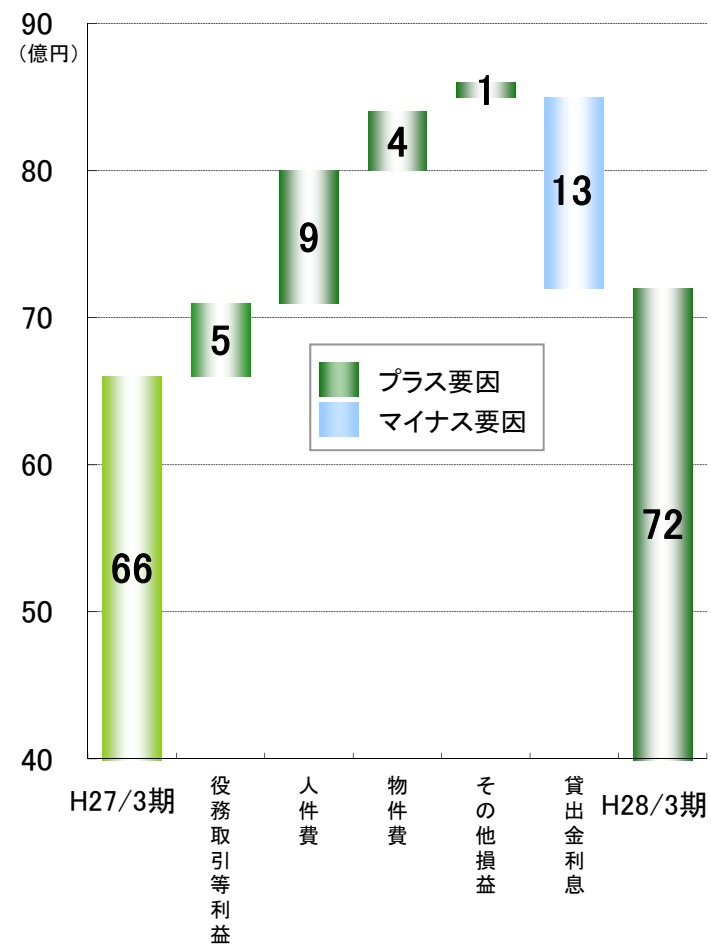
コア業務純益



※ コア業務純益＝業務純益－債券５勘定戻し一般貸倒引当金繰入

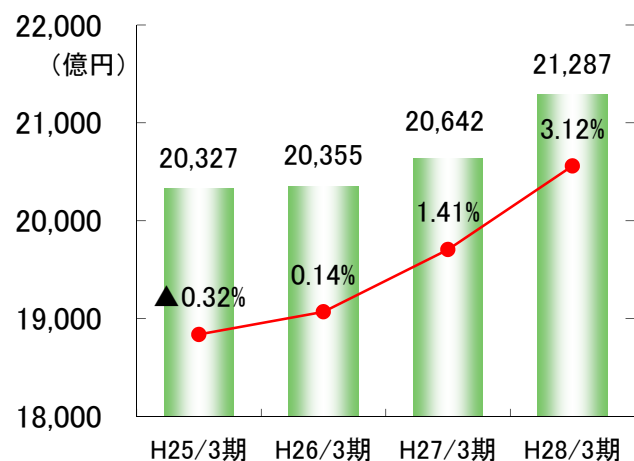
※ コア業務粗利益＝業務粗利益－債券５勘定戻し

コア業務純益の増減要因

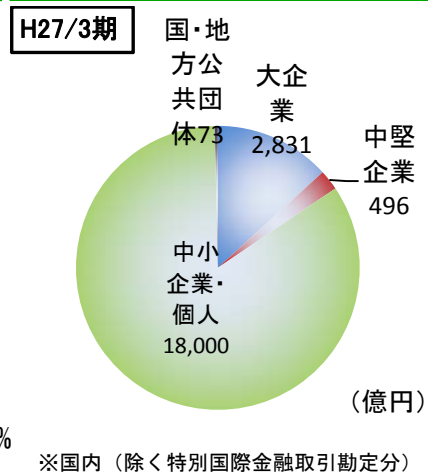


I. 決算概要 (3) 主要残高(貸出金と預金)

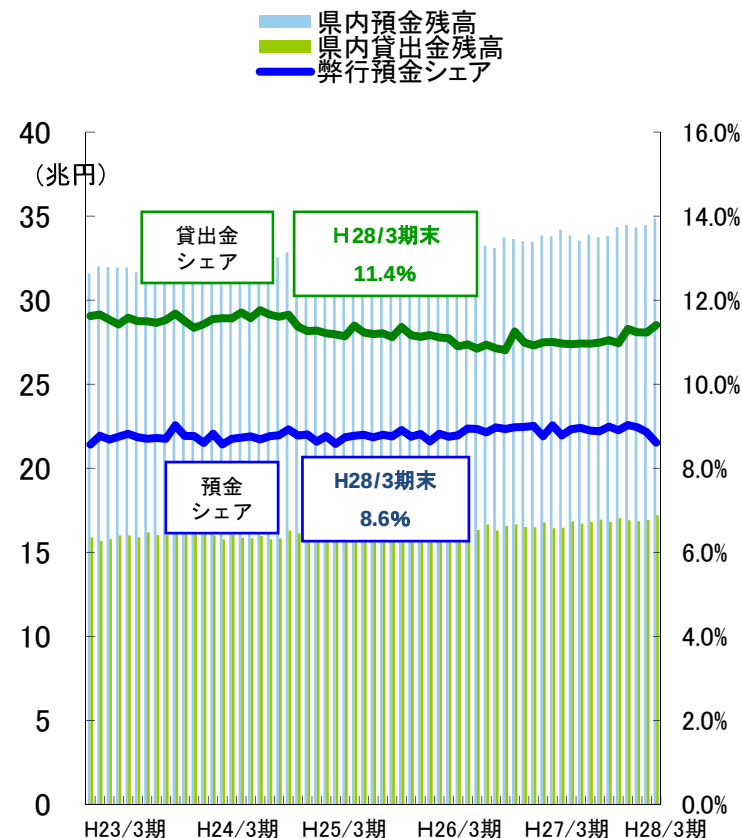
貸出金（平残）と増減率



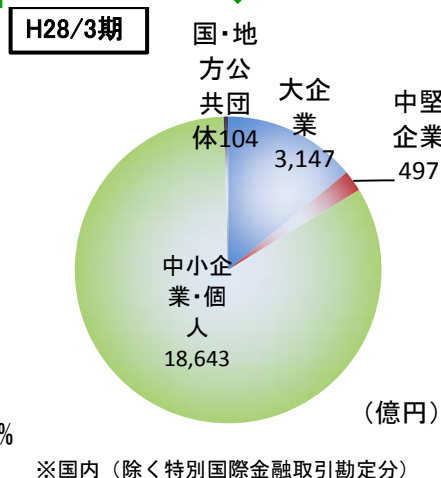
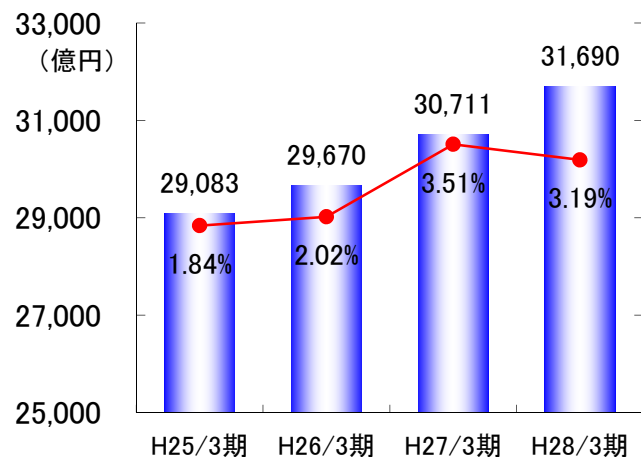
貸出金（末残）の内訳推移



県内銀行シェア



預金等（平残）と増減率



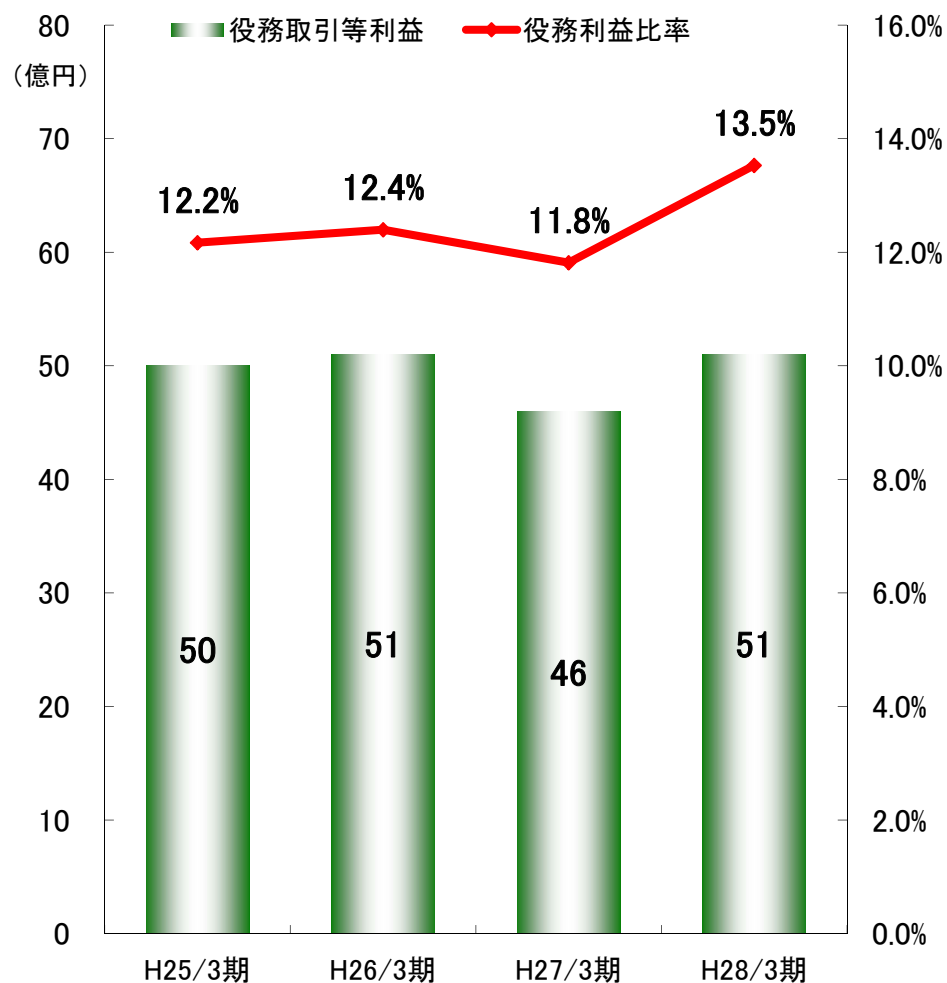
※ ゆうちょ銀行、信金、信組は除く

（出所：日本銀行 都道府県別預金／貸出金）

※ 預金等＝預金＋譲渡性預金

I. 決算概要 (4) 役務取引等利益の状況

役務取引等利益



※ 役務利益比率＝役務取引等利益／業務粗利益

役務取引等利益 51億円(前期比+5億円)

⇒ <受入手数料>

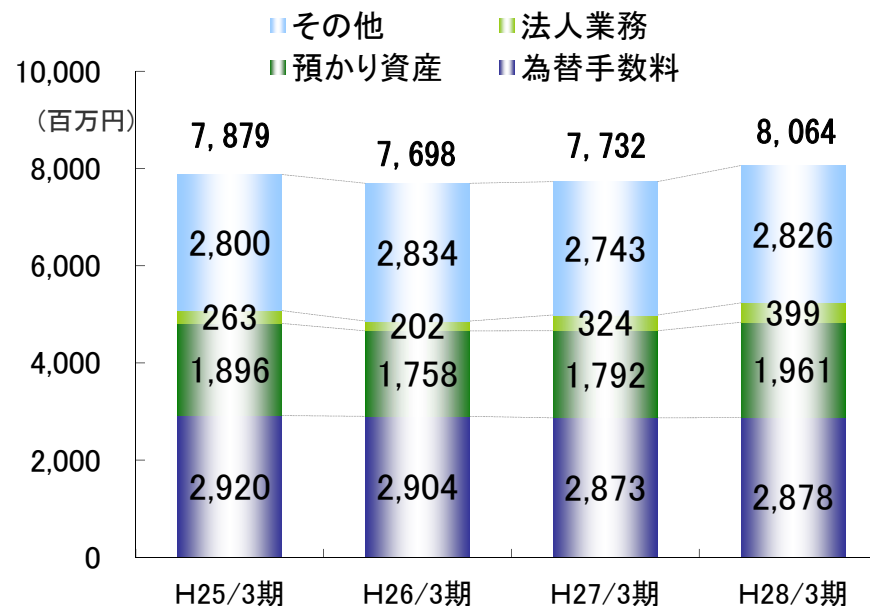
生命保険代理店手数料の増加 : +1億円

ローン関係手数料の増加 : +1億円

<支払手数料>

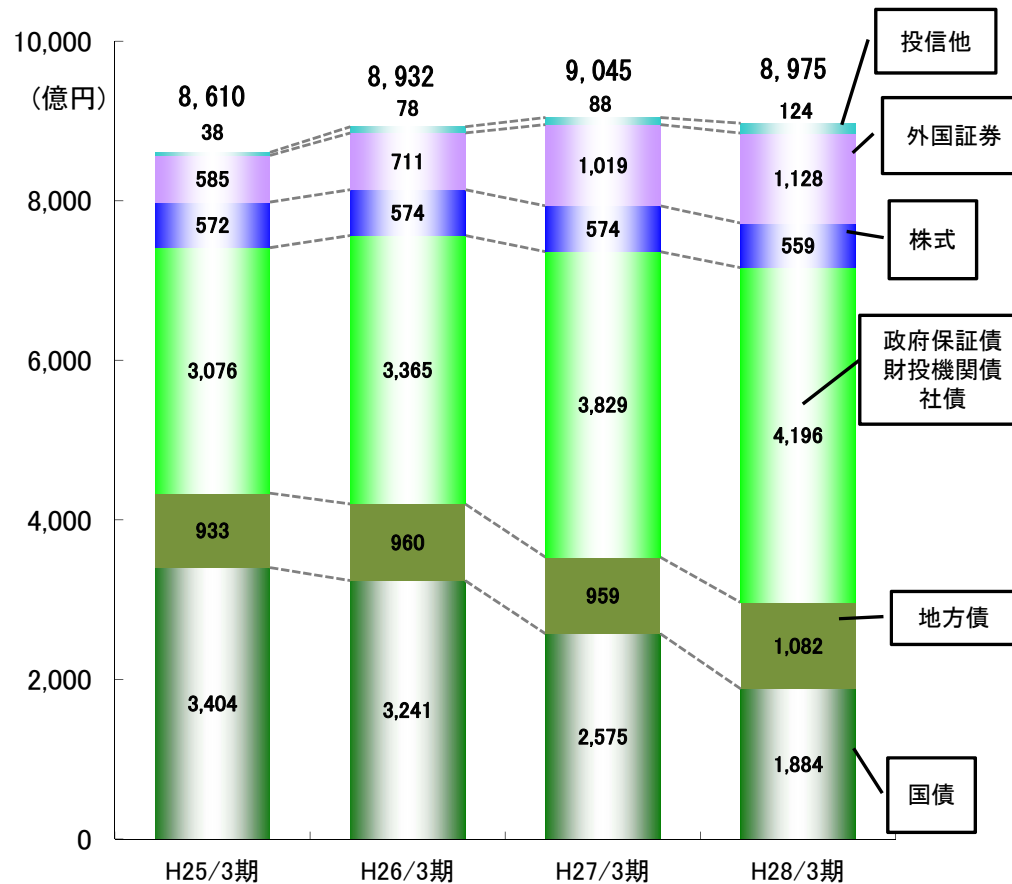
住宅ローン団信保険料の減少 : ▲2億円

受入手数料の内訳

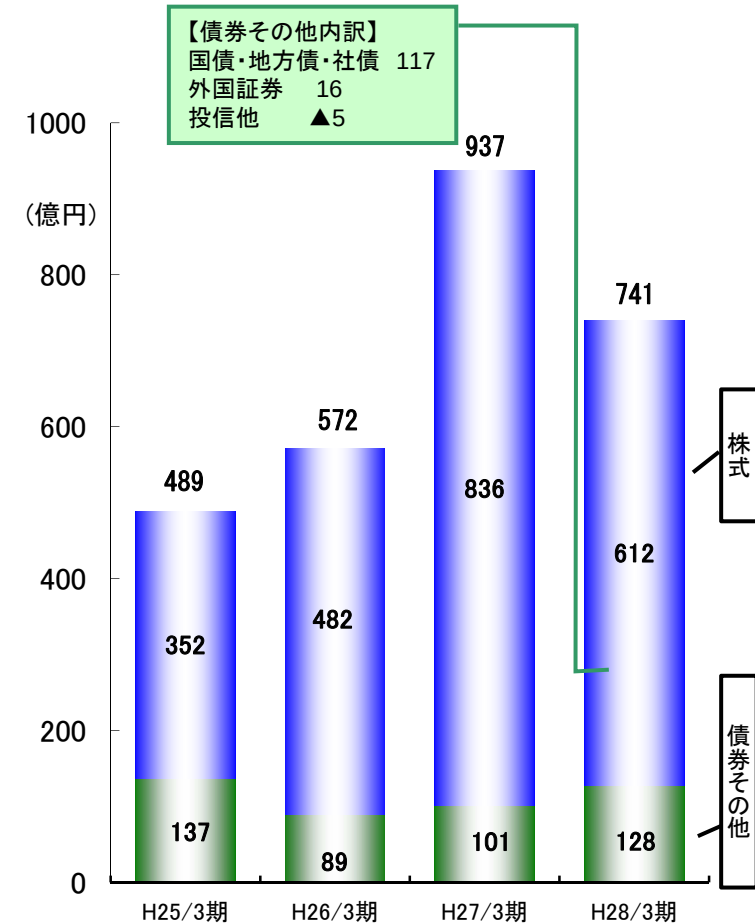


I. 決算概要 (5) 有価証券の状況

有価証券残高（末残）



有価証券評価損益

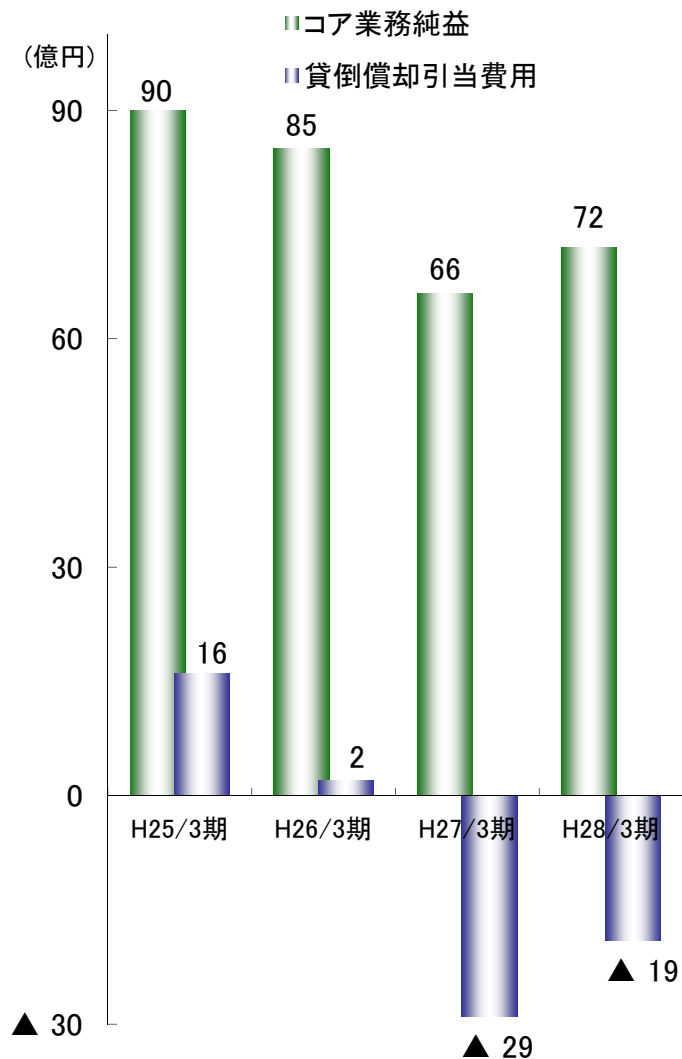


【平成27年度の運用実績】

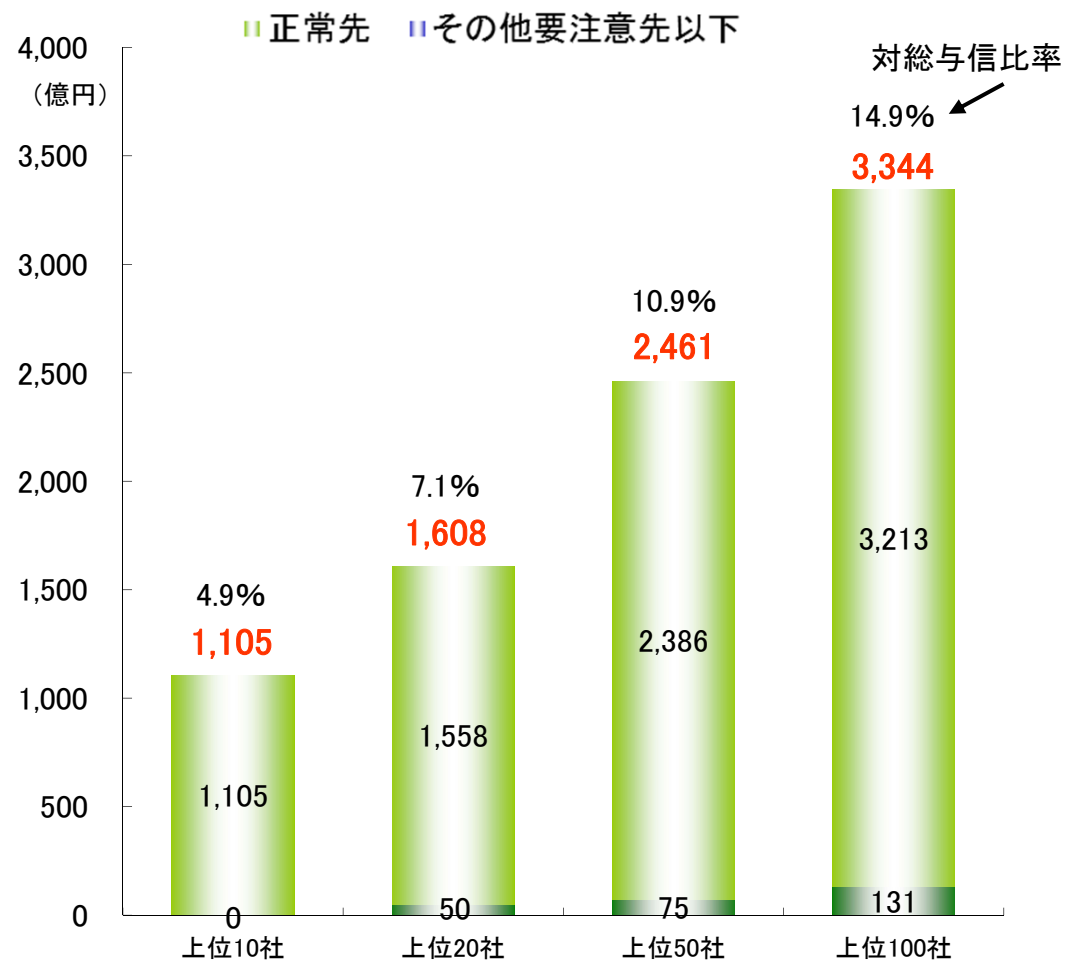
- 国債残高を減少させる一方で、相対的に収益性が高い社債や外国証券を中心に残高を積上げ、利息収入を確保
- 有価証券評価損益は、世界経済の減速懸念等により株式等のリスク資産の価格が下落したため減少

I. 決算概要 (6) 与信コストの状況

貸倒償却引当費用（与信コスト）

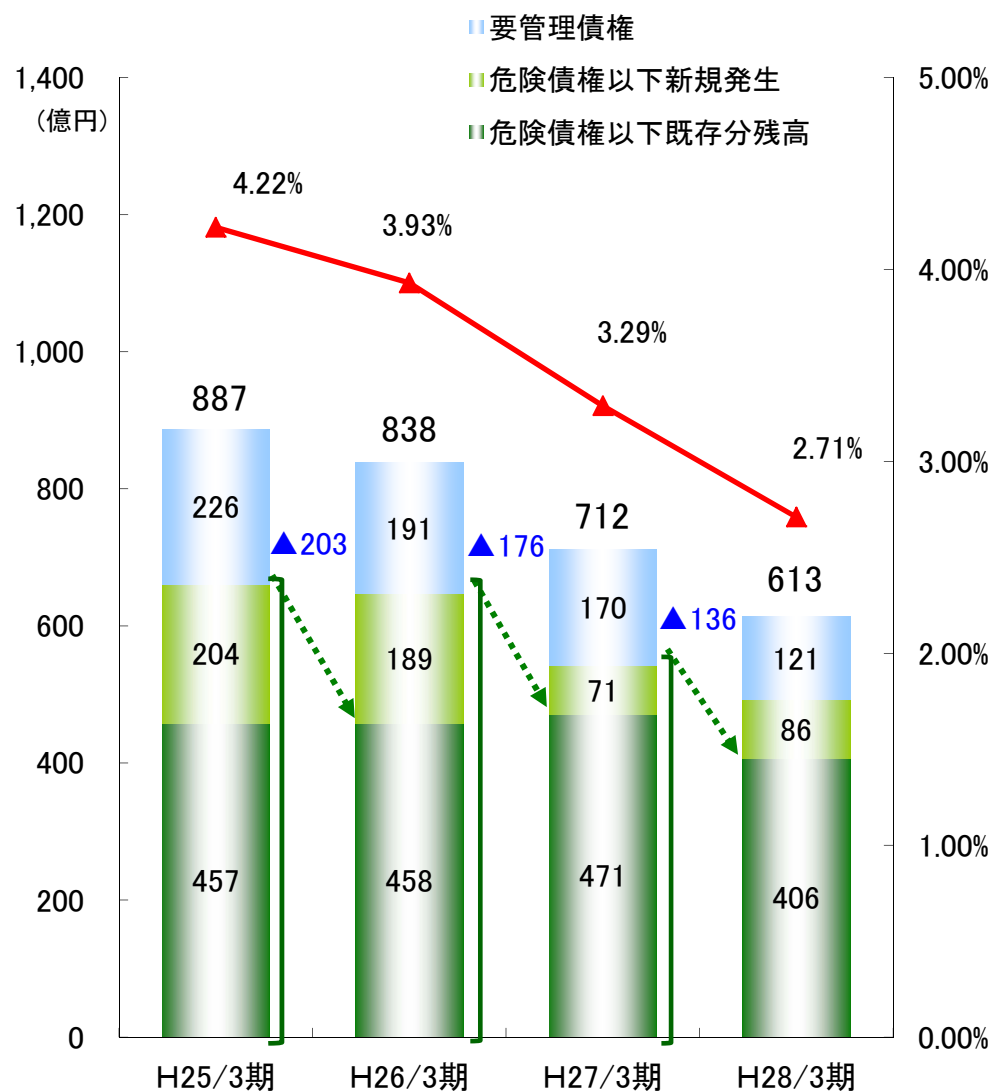


与信集中リスク

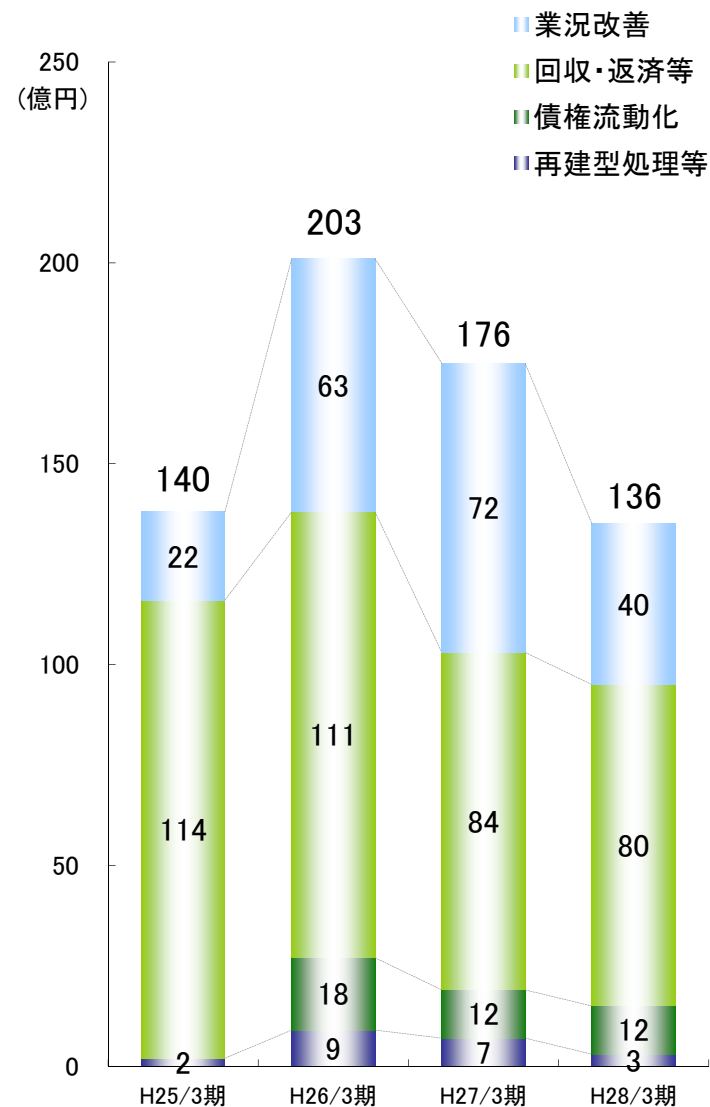


I. 決算概要 (7)不良債権の状況

不良債権比率（金融再生法ベース）

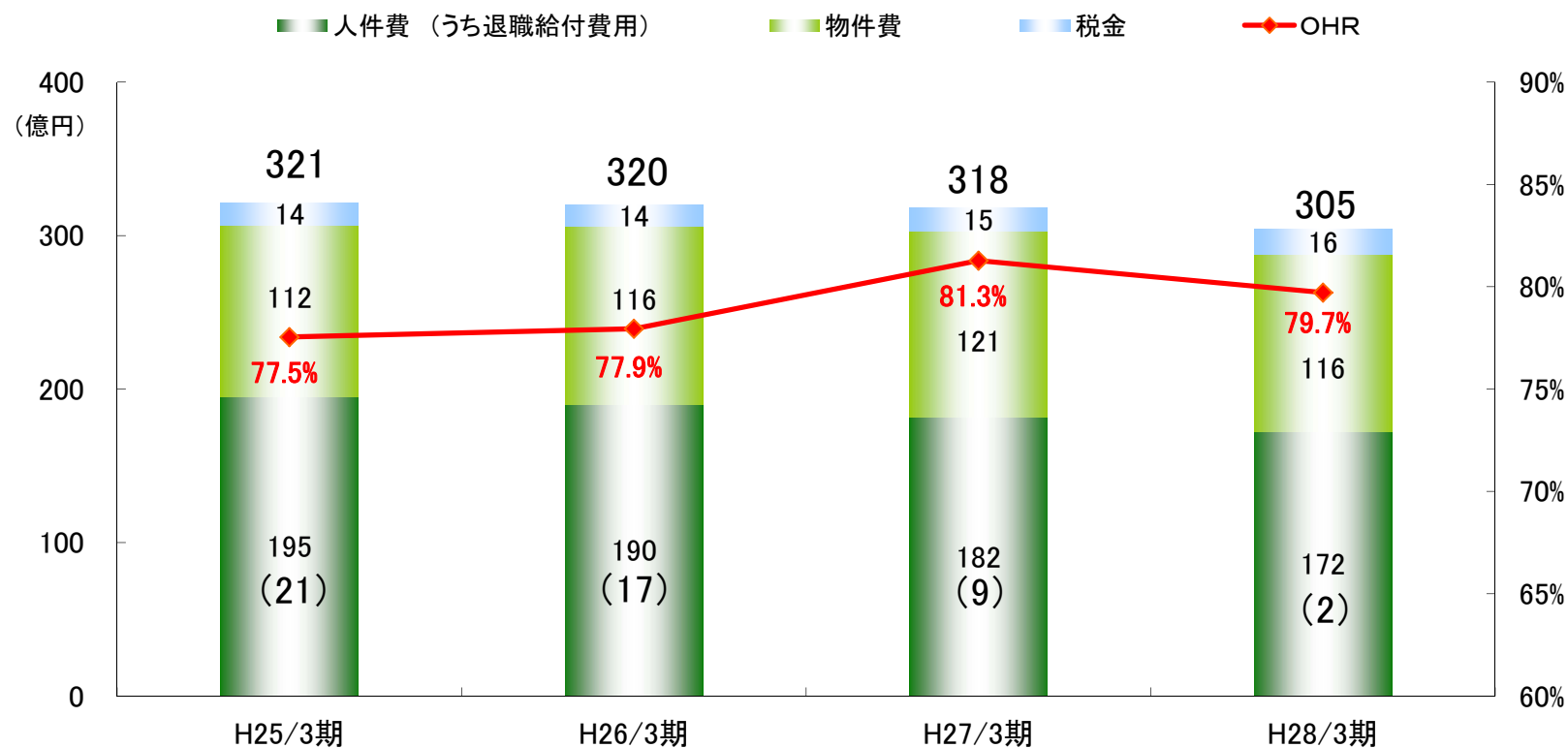


オフバランス化内訳



I. 決算概要 (8) 営業経費とOHRの状況

営業経費の内訳とOHR

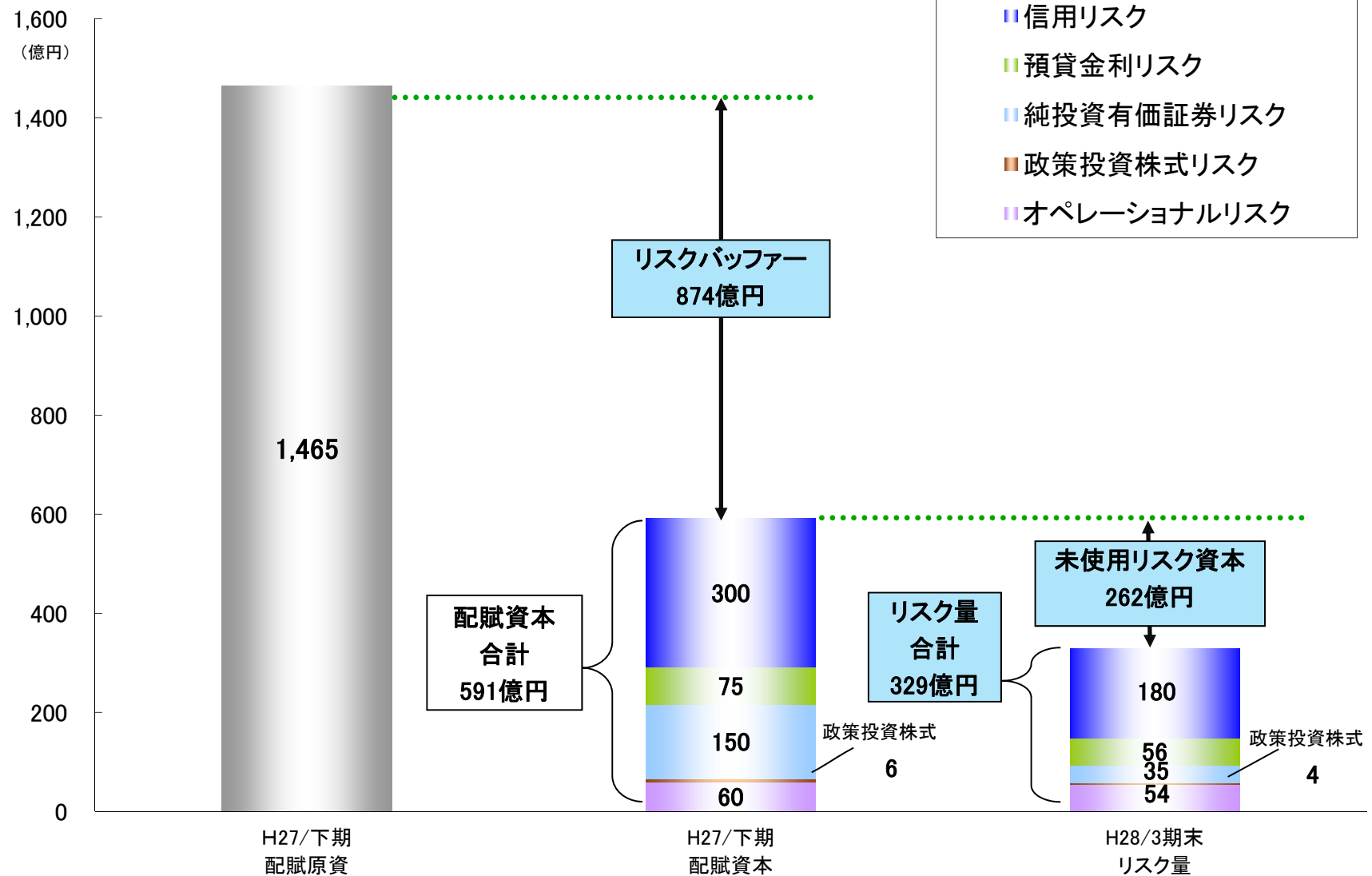


正行員数の推移

H25/3期末	H26/3期末	H27/3期末	H28/3期末
2,065名	2,011人	1,955人	1,928人

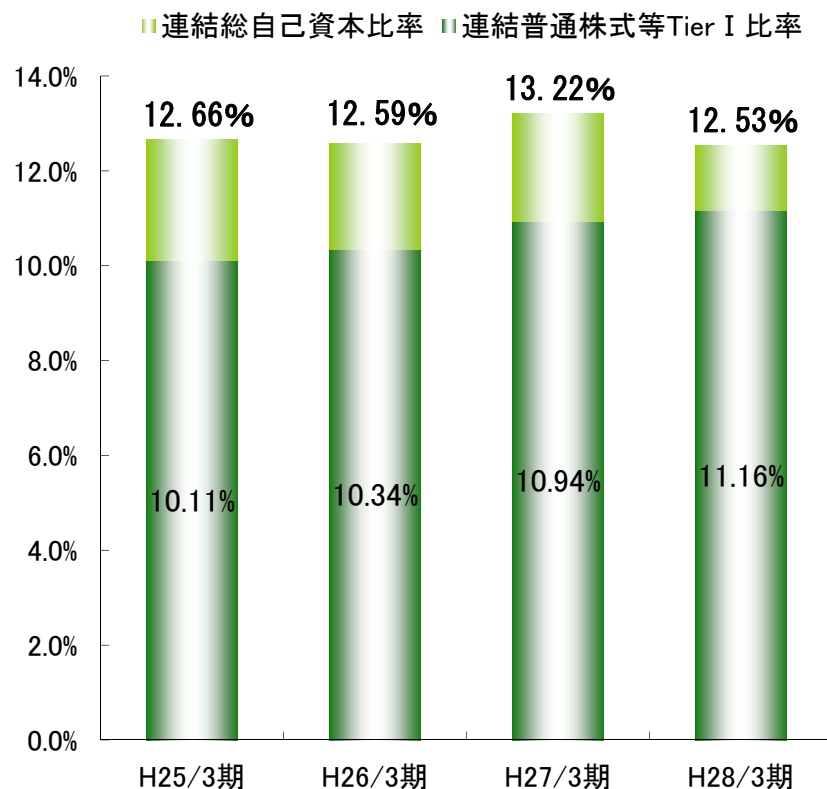
I. 決算概要 (9)リスク管理の状況

統合的リスク管理の状況



I. 決算概要 (10) 連結総自己資本比率と配当の状況

連結総自己資本比率と連結普通株式等Tier I 比率



- ※ 平成24年3月末より、国際統一基準を適用
- ※ 平成25年3月末より、バーゼルⅢを適用し、連結普通株式等Tier I 比率を表示
以前は連結Tier I 比率を表示

配当政策（単体）

	H25/3期	H26/3期	H27/3期	H28/3期
配当金	6.5円	6.5円	6.5円	7.0円

【配当方針】

平成28年3月期中間配当は10年ぶりに増配
安定配当により、長期的な関係構築を目指す

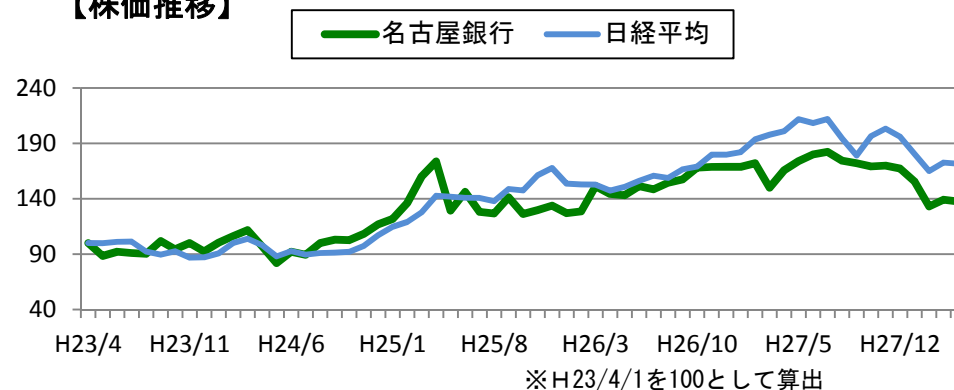
配当利回り（単体）

	H25/3期末	H26/3期末	H27/3期末	H28/3期末
配当利回り	1.53%	1.61%	1.63%	1.89%

配当性向（単体）

	H25/3期末	H26/3期末	H27/3期末	H28/3期末
配当性向	23.26%	26.53%	21.35%	20.61%

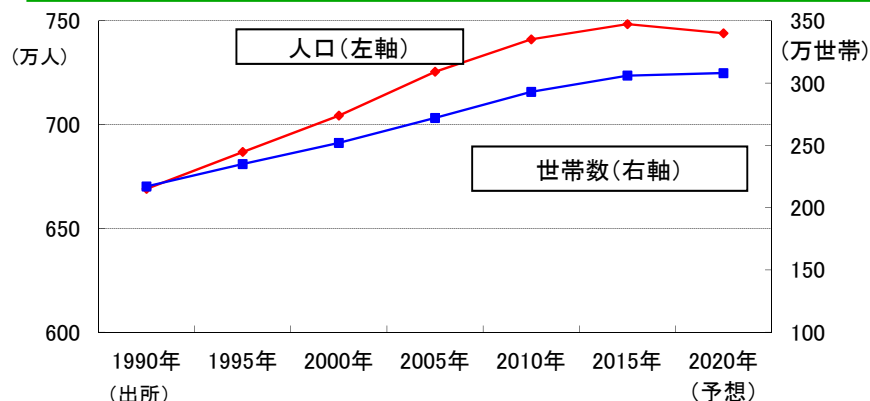
【株価推移】



Ⅱ．今後の愛知県について

Ⅱ. 今後の愛知県について (1) 愛知県の人口動態

愛知県人口・世帯数推移



(出所)
・総務省統計局「国勢調査」
・国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

東海4県の今後の人口増減率

(単位: 人)			
愛知県	2015年	2025年	増減率
15～64歳	4,650,983	4,503,760	-3.165%
総数	7,470,407	7,348,135	-1.637%
岐阜県	2015年	2025年	増減率
15～64歳	1,197,912	1,092,908	-8.766%
総数	2,035,473	1,907,818	-6.272%
三重県	2015年	2025年	増減率
15～64歳	1,080,019	993,239	-8.035%
総数	1,821,273	1,714,523	-5.861%
静岡県	2015年	2025年	増減率
15～64歳	2,190,722	1,984,786	-9.400%
総数	3,696,499	3,480,333	-5.848%
全国	2015年	2025年	増減率
15～64歳	76,818,271	70,844,911	-7.776%
総数	126,597,295	120,658,815	-4.691%

(出所: 国立社会保障・人口問題研究所)

65歳以上人口の減少のタイミング

65歳以上人口が減少に転じるタイミング	都道府県
2020年頃	岩手、秋田、富山、長野、和歌山、島根、岡山、山口、徳島、香川、愛媛、高知
2025年頃	北海道、青森、山形、福島、新潟、福井、鳥取、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
2030年頃	—
2035年頃	—
2040年以降	宮城、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、石川、山梨、岐阜、静岡、 愛知 、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、広島、福岡、沖縄

(出所)【NTTデータ研究所:「地域金融機関は預貯金の縮小に備えよ」から抜粋】

相続対象預貯金が県外流出する割合	都道府県名	
	2010年→2020年	2010年→2030年
流入超	茨城 、栃木、埼玉、千葉、東京、神奈川、 愛知 、滋賀、大阪、兵庫、福岡、沖縄	栃木、埼玉、千葉、東京、神奈川、 愛知 、滋賀、大阪、兵庫、福岡、沖縄
流出0～10%以下	北海道、宮城、群馬、静岡、京都、奈良	宮城、茨城、群馬、石川、静岡、京都、奈良、広島
流出10%超 20%以下	青森、石川、山梨、岐阜、三重、広島	北海道、富山、山梨、岐阜、三重、岡山
流出20%超	岩手、秋田、山形、福島、新潟、富山、福井、長野、和歌山、鳥取、島根、岡山、山口、徳島、香川、愛媛、高知、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島	青森、岩手、秋田、山形、福島、新潟、福井、長野、和歌山、鳥取、島根、山口、徳島、香川、愛媛、高知、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島

(出所)【NTTデータ研究所:「地域金融機関は預貯金の縮小に備えよ」から抜粋】

- ・愛知県は人口が今後微減に転じるが、世帯数は増加
- ・愛知県の将来の人口減少幅は近隣他県に比べ小さい
- ・65歳以上の人口減少は2040年以降であり、退職世代が増加
- ・愛知県は相続対象預貯金が2030年まで流入超

Ⅱ. 今後の愛知県について (2) 魅力的なマーケット“愛知県”

経済活性化につながる各プロジェクト



「アジアNo.1航空宇宙産業 クラスター形成特区」に認定

三菱航空機(株)が初の国産ジェット機を
開発・製造、平成27年11月に初飛行



リニア中央新幹線の開通

H39年東京～名古屋間
H57年名古屋～大阪間
開業予定



名古屋駅再開発

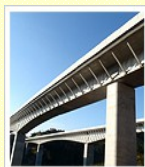
大名古屋ビルヂング (H27年)
JPタワー名古屋 (H27年)
シンフォニー豊田ビル (H28年)
JRゲートタワー (H29年)



中部国際空港 新ターミナル建設計画 (H29年～30年)



トヨタ自動車の世界初の
量産型F C V車
「MIRAI」発売
(H26年12月)



新東名高速道路
豊田東JCT～浜松いなさJCT間
(H28年2月)



愛知県の経済指標

総人口 (平成27年)
748万人 (全国4位/47都道府県)
(東京、神奈川、大阪、**愛知**)
事業所数 (平成26年)
33万事業所 (全国3位/47都道府県)
(東京、大阪、**愛知**)
県内総生産 (平成24年)
34兆円 (全国3位/47都道府県)
(東京、大阪、**愛知**)
製造品出荷額等 (平成26年)
43兆円 (全国1位/47都道府県)
(**愛知**、神奈川、大阪)
貿易額 (海港) (平成27年)
16兆円 (全国2位)
(東京港、**名古屋港**、横浜港)

愛知県の農業産出額

農業産出額 (平成26年)

3,010億円 (全国7位/47都道府県)
(北海道、茨城、鹿児島、千葉、宮崎、熊本、**愛知**)

Ⅲ. 経営戦略

Ⅲ. 経営戦略 (1) 今年度の業績見通し

平成29年3月期決算見通し

【主な要因】

(単位: 億円)

【単体】	H28/3期	H29/3期 見通し	増減
業務粗利益	383	380	▲3
資金利益	323	319	▲4
役務取引等利益	51	56	▲5
その他業務利益	7	5	▲2
営業経費	305	301	▲4
人件費	172	168	▲4
物件費	116	114	▲2
税金	16	18	2
業務純益	77	79	2
コア業務純益	72	76	4
貸倒償却引当費用	▲19	12	31
株式等関係損益	6	0	▲6
経常利益	101	60	▲41
当期純利益	66	46	▲20

- 貸出金利息 ▲9億円
〔量的要因 10億円〕
〔金利要因 ▲19億円〕
- 有価証券利息配当金 5億円
- 預金等利息 ▲6億円
- その他 ▲6億円

- 役務取引等収益 3億円
〔受入為替手数料 1億円〕
〔投資商品販売手数料 2億円〕
- 役務取引等費用 ▲2億円

個別貸倒引当金の算定に用いる計測期間を
5年10期から10年20期に変更

【連結】 当期純利益	69	50	▲19
------------	----	----	-----

「変わる！変える！生まれ変わる」 ～満足があふれる銀行へ～

地域社会の繁栄に奉仕する

誰よりも親切にお客さまに接し、誰よりも真剣にお客さまのことを考え、
誰からも喜ばれる銀行へ

BPRを通じた全員営業体制



経営管理態勢の強化・コンプライアンスの重視

B P R ... Business Process Re-engineering

お客さま満足度向上実現を通じた収益増強
名古屋銀行の持続性と成長性を確保

①業務効率化
営業店業務量削減目標
▲25%

②組織再設計
業務の本部集中拡大

③人員再配置
【営業店人員の変化イメージ】
内勤事務1,250人 ⇨ 1,100人
渉外 550人 ⇨ 700人

—お客様—

メイン取引先
深耕が図られていない先
未取引先

通常営業

メイン化(深耕)
新規開拓

深耕、新規開拓に、十分な時間が割けていない

—営業店—

渉外	融資	店頭
渉外	諸業務	諸業務
渉外	諸業務	諸業務
渉外	諸業務	諸業務
渉外	諸業務	諸業務
	諸業務	諸業務
	諸業務	諸業務
	諸業務	諸業務

—本部—

プロセス再構築対象業務

R前

R後

お客さま満足度向上

メイン取引先
メイン化された先
新しいお取引先

通常営業
強化

メイン化(深耕)
強化

新規開拓
強化

全員営業体制

渉外	融資	店頭
渉外	諸業務	諸業務
渉外	諸業務	諸業務
渉外	諸業務	諸業務
渉外	諸業務	諸業務
渉外 ③	営業 ③	営業 ③
渉外	営業	営業
	営業	営業

【①業務効率化】
簡素化、無駄の排除等

① ②

【②組織再設計】
各種業務の本部集中等

【③人員再配置】
営業人員増強等

Ⅲ. 経営戦略 (4) BPR戦略 3年間の取組み(平成25年4月～平成28年3月)

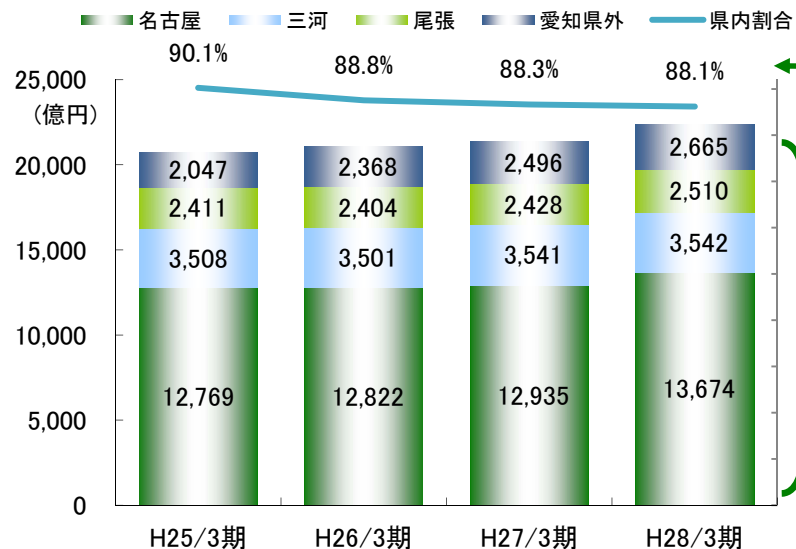
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
業務効率化	4月 BPR戦略の始動	営業店業務の本部集中化	12月 日本初である34種類のデザインICキャッシュカード即時発行を開始	➤ 業務量削減 25% →22.39%
組織再設計	10月 現場意見吸収のため、「チーフ」と「専用掲示板」を新設	4月 融資集中実行センター(今池融資センター)を新設し、営業店事務負担を軽減 - 伝票・書類集中保管センター(瀬戸ドキュメントセンター)を新設し、営業店事務負担を軽減	4月 新本部組織体制の構築(シナジー効果を期待) - 営業本部 ⇒営業部門の4部をユニット化 - 内部統制部 ⇒リスク管理とガバナンス強化を目的に、複数のまたがっていた部門を集約 - 経営企画部 ⇒銀行経営における戦略と人事を集約	➤ 人員再配置 渉外人員 550名 →676名 - 内勤事務人員 1,250名 →1,141名
人員再配置	10月 個人向け営業担当者「パーソナル・コンシェルジュ(PC)」の新設 平成28年3月末 99名	7月 全員営業体制構築のため、人事制度を改定 10月 役席の兼務、渉外人員の増強を柱とした人員再配置開始 - 役席体制の見直し 原則5名体制⇒4名体制	相続相談プラザを開設し、より専門的なサポートを開始	＜今後の予定＞ ・ 渉外用営業端末の機能強化 ・ 為替システム更改 ・ 融資総合支援システム更改

BPR施策の取組みにより、収益力向上の基盤が構築された

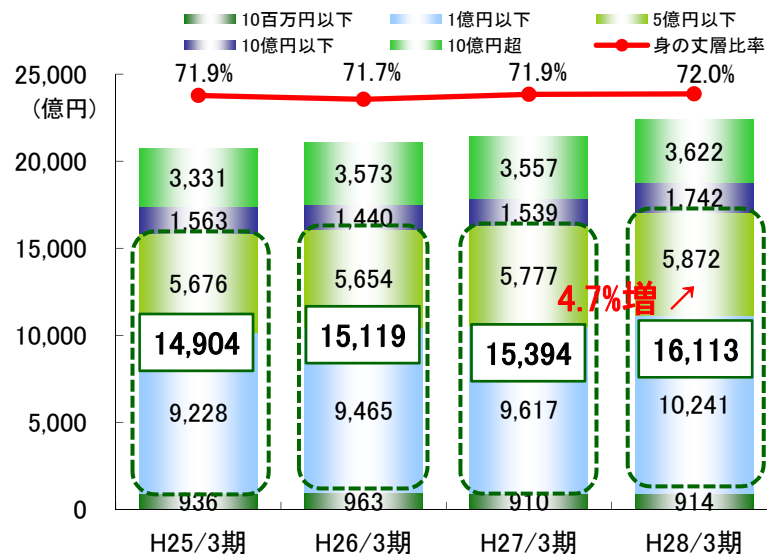
改革・改善マインドは当行の文化であり、
BPR戦略はBPR第2ステージとして今後も継続していきます！

Ⅲ. 経営戦略 (5) 法人戦略①

地域別残高・愛知県内割合



与信額階層別残高・「身の丈」層割合



コンサルティング業務

事業性評価への取組み

- 「事業性評価」への取組みは地域金融機関として最重要課題
 - ・組織活動として「事業性評価」を実施
 - ・平成28年5月より、地域ごとの営業店が集まり「事業性評価会議」を定例開催開始

成長分野産業への取組み

- 「あいち・じもと農林漁業成長応援ファンド」の設立
(平成26年3月19日)
- 第1回あいち・じもと農林漁業成長応援「食」と「農」の大商談会
(平成28年3月24日開催)

補助金申請サポート

平成26年度補正予算
「ものづくり補助金」

1次2次合算公募採択件数全国金融機関9位
1次2次公募採択件数共に県内金融機関1位

(合計採択件数123件 平成27年9月30日現在)

認定支援機関
として、積極的
に支援

地方創生への取組みについて

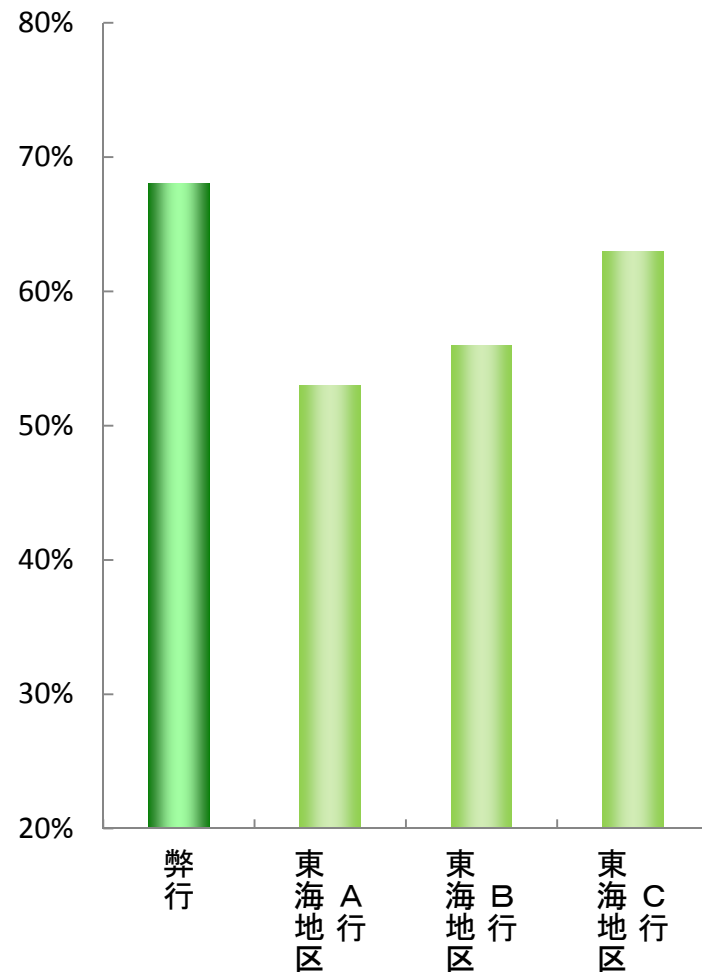
「都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略および
市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略(地方版総合戦略)」
の策定および推進を支援

- 地方版総合戦略の策定への協力
- 地方版総合戦略の推進に向けた協力
- その他、地方創生の推進に関する対応
- 連携状況 7市13団体(平成28年3月末現在)

Ⅲ. 経営戦略 (5) 法人戦略②

事業性貸出比率

(平成28年3月期末)

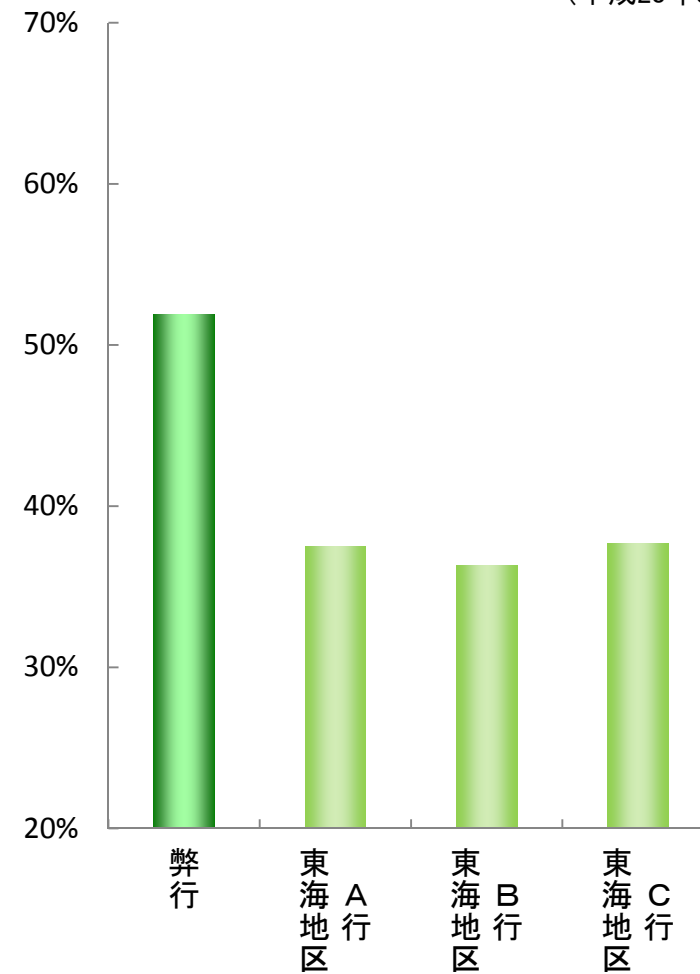


※事業性貸出とは貸出金から消費者ローン残高、
地方公共団体残高を除く

(弊行調べ)

中小企業貸出比率

(平成28年3月期末)



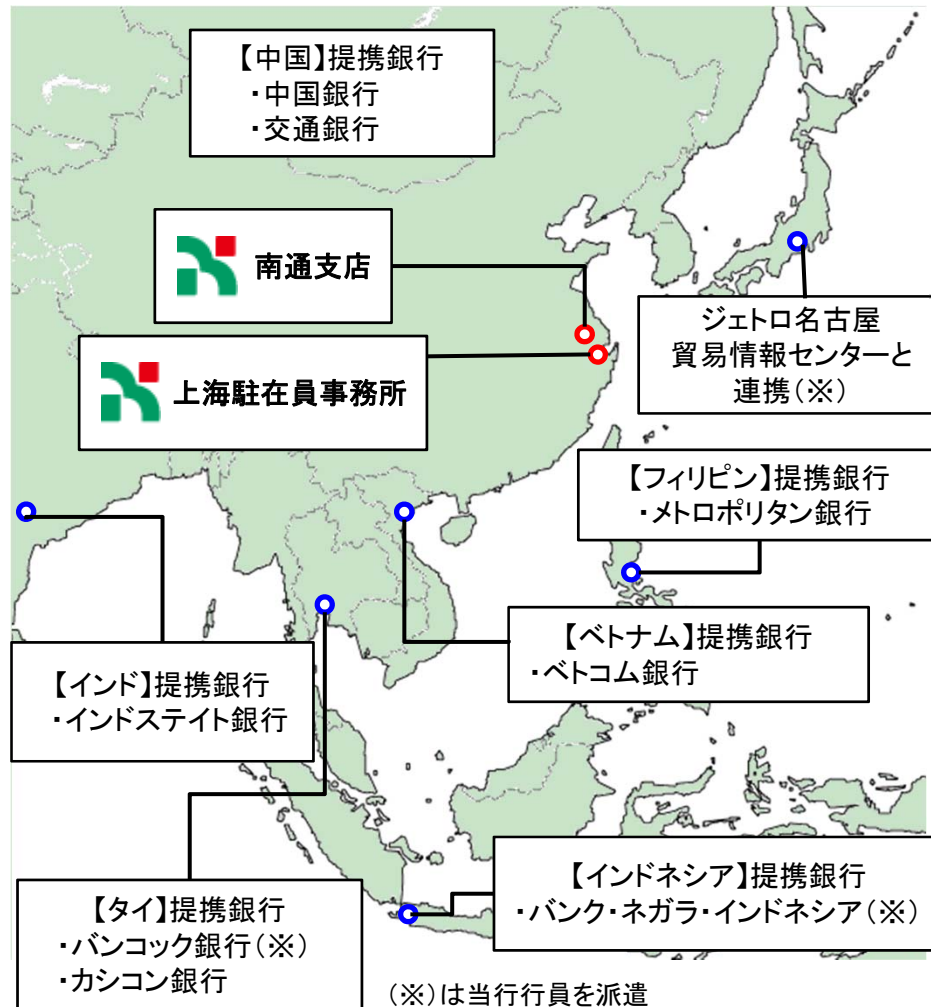
※中小企業貸出とは貸出金から消費者ローン残高、
中堅・大企業、地方公共団体残高を除く

(弊行調べ)

Ⅲ. 経営戦略 (5) 法人戦略③

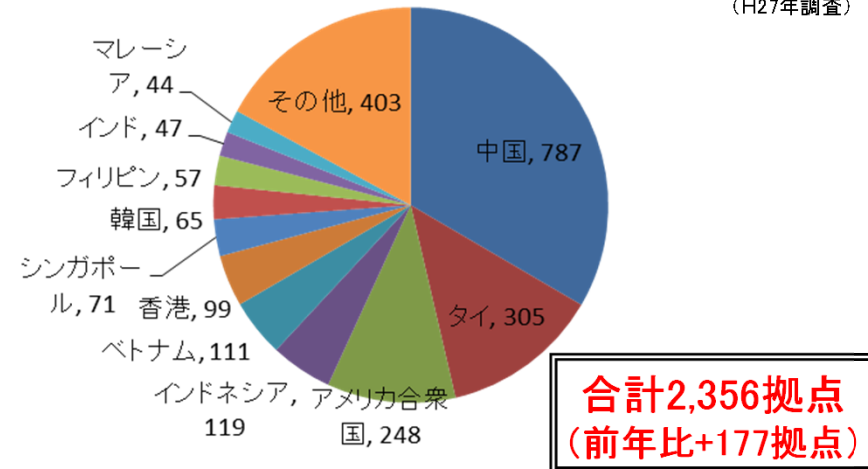
中国・東南アジアへの進出サポート

- ・中国・東南アジアを中心に情報収集機能と海外進出する取引先の支援体制を強化

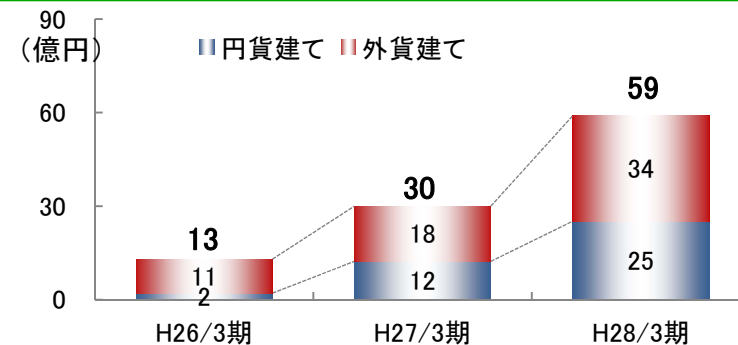


弊行のお客さまの海外進出状況

(H27年調査)



海外向け融資実績の推移



【融資種類別件数推移】

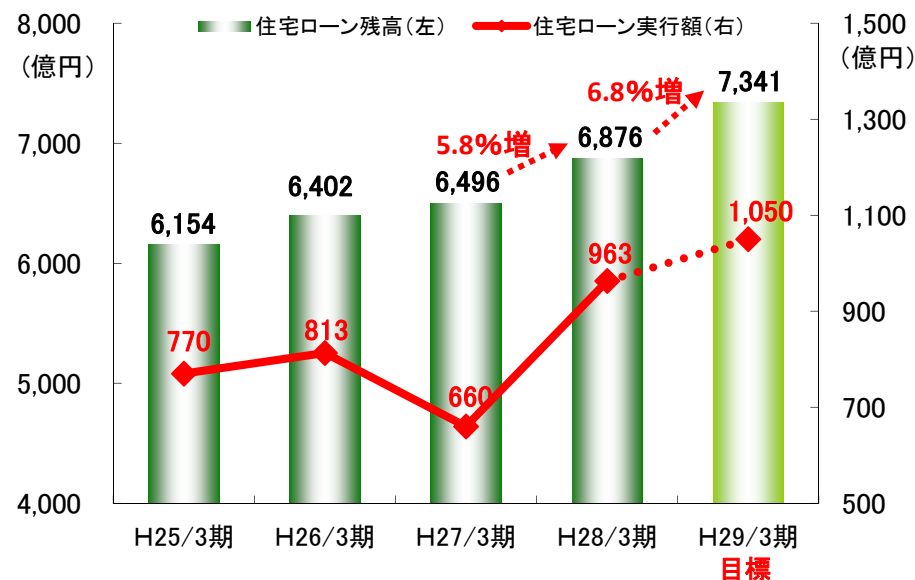
(件)

	H26/3期	H27/3期	H28/3期
スタンバイL/C等	16	18	26
クロスボーダー貸付	0	3	9

Ⅲ. 経営戦略 (6) 個人戦略①

－住宅ローン戦略－

住宅ローン（実行額と残高）



営業体制の充実

【LA人員増加】（LA＝ローンアドバイザー）
LA44名体制にて、住宅流通業者へのアプローチ強化
（H26/3期末 35名 → H27/3期末 32名 → H28/3期末 44名）

【ローンプラザの充実】

8か所を配置し、うち5か所で土・日なども営業

【休日相談会の実施】

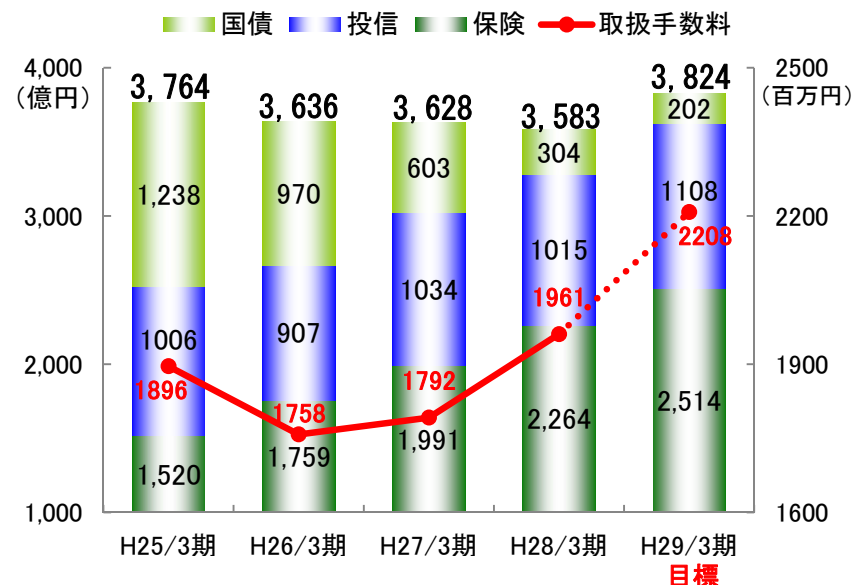
2ヶ月毎、年6回実施（平成28年5月は97店舗にて開催）

【お取引先企業の従業員の方々を対象としたキャンペーンを実施】

【既存先へのアフターフォロー強化によるクロスセル推進】

－預かり資産戦略－

預かり資産（残高と取扱手数料）



パーソナル・コンシェルジュの配置

（パーソナル・コンシェルジュ＝個人向け営業担当者）

➤ コンセプト

- ・ 個人のお客さまに関する全ての金融ニーズに対応し、徹底的に絆を強める
- ・ 地域に密着し、お客さまとのリレーションを深める



PC用営業車両「コムス」

愛知県内全営業店へ配置

H26/3期末	H27/3期末	H28/3期末
27名	71名	99名 (うち女性76名)

※平成25年10月より新設

Ⅲ. 経営戦略 (6) 個人戦略②

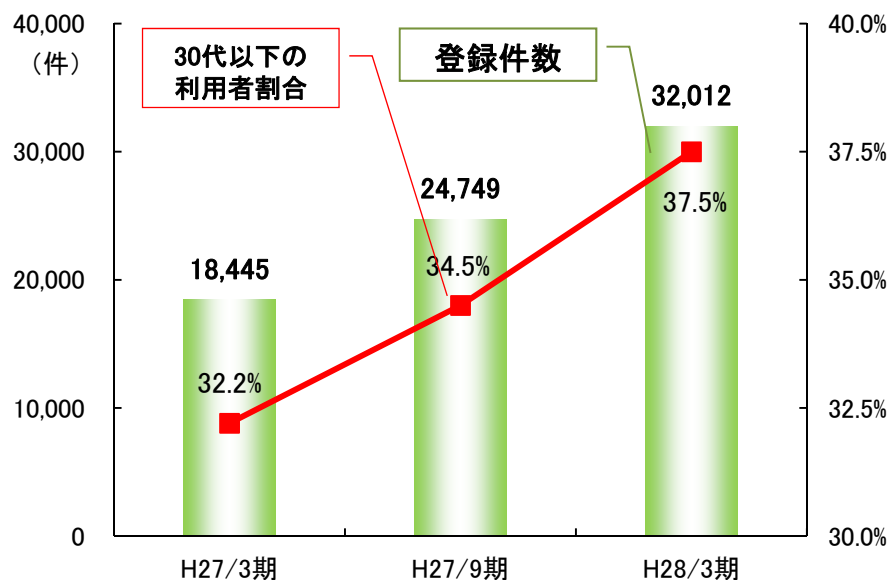
個人向けインターネットバンキング：bankstage (平成27年1月23日サービス開始)

➤ 全く新しい個人向けインターネットバンキング

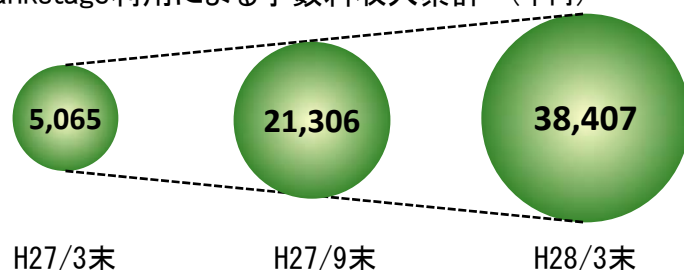
- ・共同センター型システムを全面的に更改し、独自に開発
- ・これまで接点を持てなかった年代層を中心に取引拡大

➤ コンセプト

- ・リアル店舗（国内110ヶ店）とバーチャル（インターネット支店）の融合
- ・営業エリアを愛知県中心に展開



■ bankstage利用による手数料収入累計 (千円)



新ICキャッシュカードサービス（平成27年12月1日取扱い開始）

デザインICキャッシュカード

- 49種類の豊富なデザイン
- 店頭にて最短2分の即時発行

日本初のサービス！

オリジナルICキャッシュカード

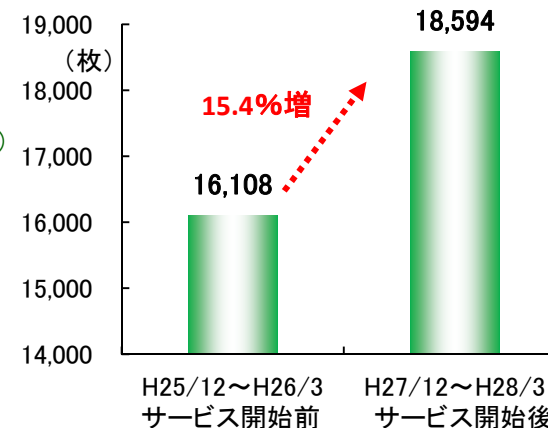
- お客さま自ら撮影した写真を使用
- 世界に一つだけのカードを発行

新規顧客取入れに有効なツール

➤ 新デザイン追加 (平成28年5月16日より)

- ・大学コラボレーションデザイン
- ・東山動植物園コラボレーションデザイン
- ・デザインコンクール受賞作品

新規発行枚数の推移



無担保ローン戦略

- マス層をメインターゲットとして、Web完結の新型カードローン取扱い開始予定
- 目的ローン推進強化により、残高増加を目指す

Ⅲ. 経営戦略 (6) 個人戦略③

情報発信拠点

名古屋銀行ハートフルプラザ(平成28年3月1日オープン)

- 名古屋駅に直結する大名古屋ビルディング16Fに開設
→ 名古屋駅は1日の乗降客数約110万人

再開発が進むと、オフィスワーカーが2万人増
ビジネスチャンスが拡大！



各種セミナーやコンサルティングスペースを充実。
名古屋銀行のブランドイメージを高めていきます。

シニア層へのアプローチ強化

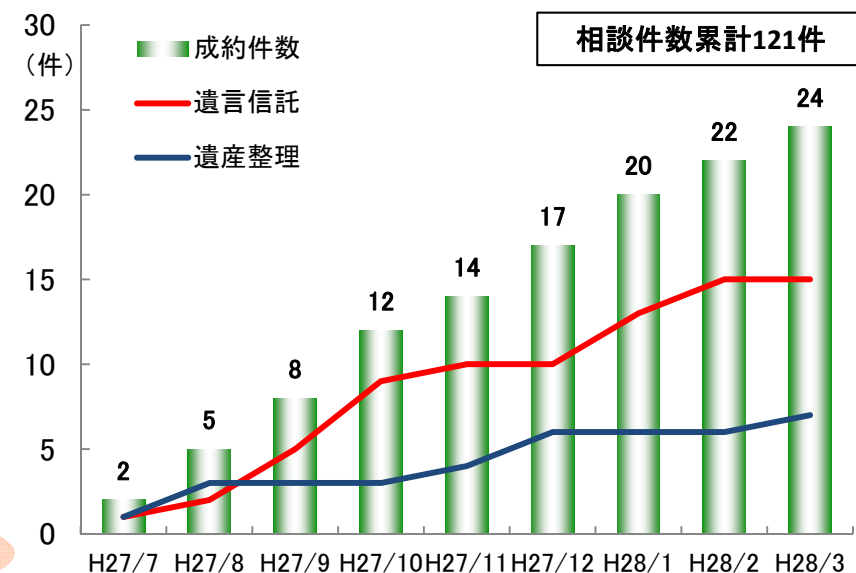
相続関連業務に対する取組みのコンセプト

- 愛知県の65歳以上の人口は2040年まで増加
- 愛知県は相続対象預貯金は2030年まで流入超

相続相談プラザ(平成27年7月1日オープン)

- 相続相談業務に特化した独立プラザ
- 多様化する相続ニーズに応える体制を整備

相続相談成約件数累計(H27.7～H28.3)

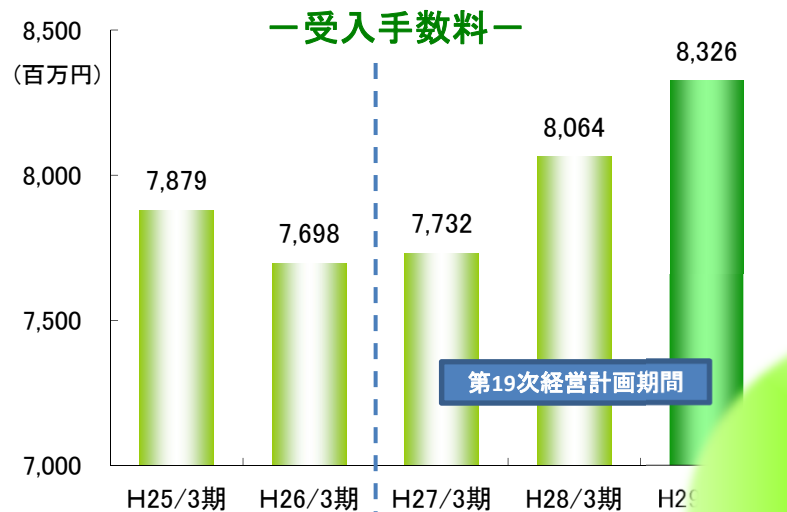


Ⅲ. 経営戦略 (7) 第19次経営計画2年目の成果

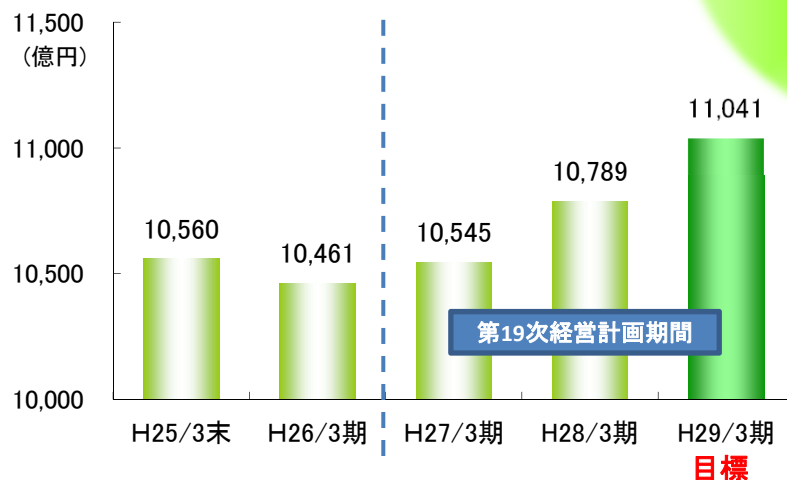
計画期間：平成26年4月～平成29年3月

社是 「地域社会の繁栄に奉仕する」

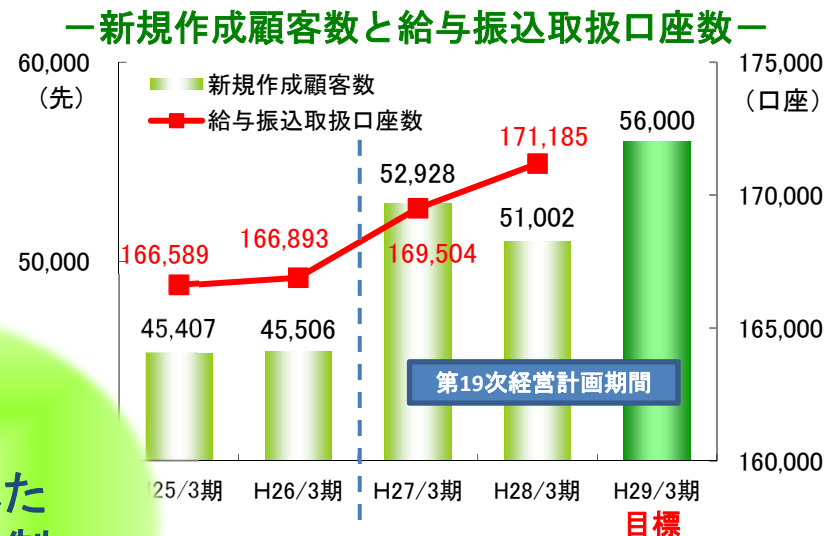
取引密度の深化



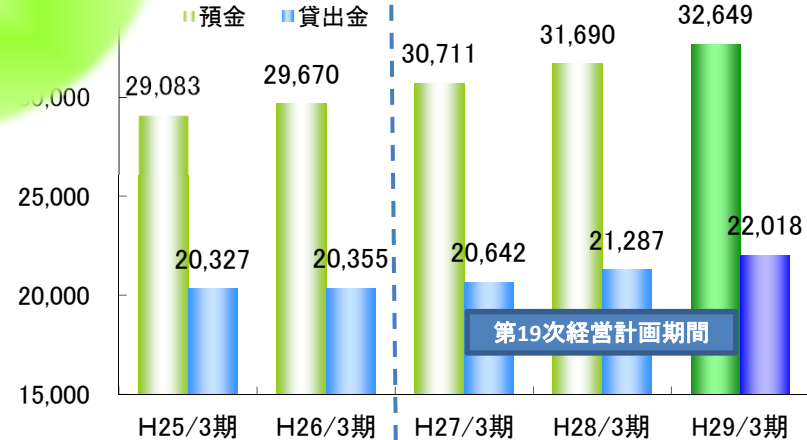
—中小企業向け融資量（平残）—



顧客数の増加



—預金等・貸出金（平残）—

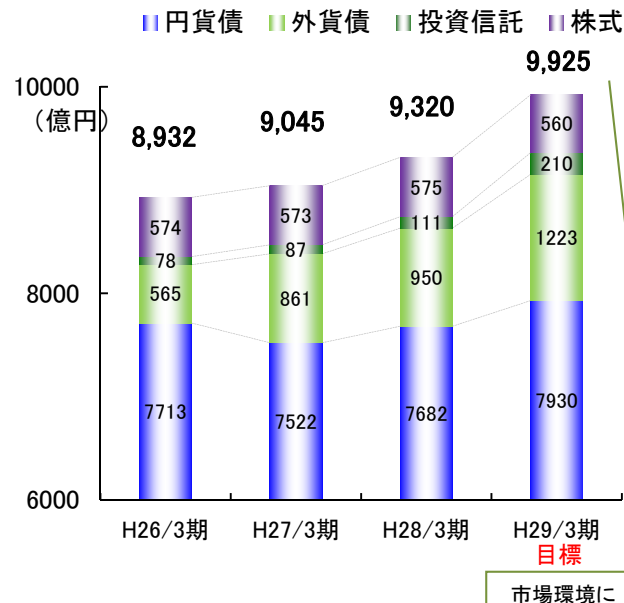


※ 預金等＝預金＋譲渡性預金

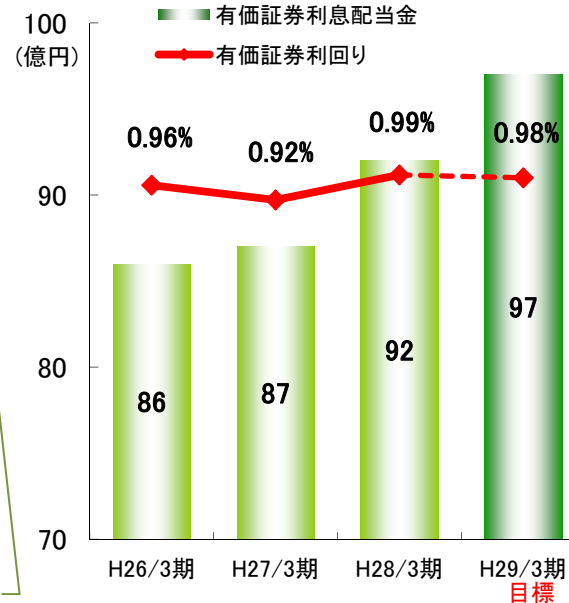
BPRを通じた
全員営業体制

Ⅲ. 経営戦略 (8) 有価証券運用戦略

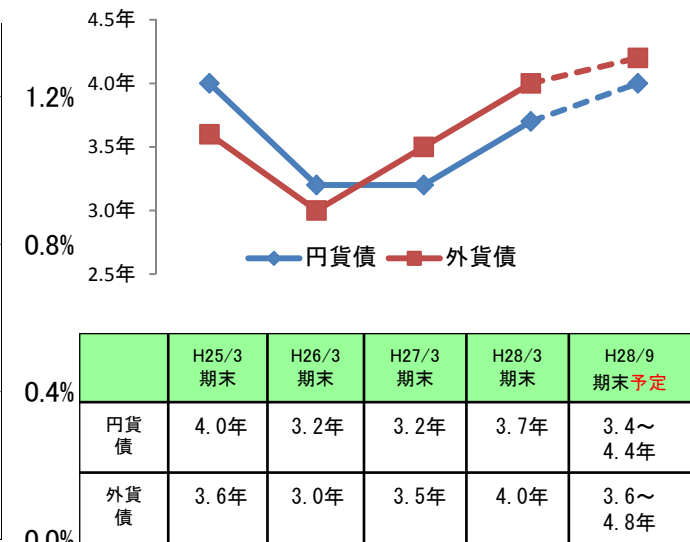
保有有価証券推移（平残）



有価証券利息配当金と利回りの推移



修正デュレーションの推移



資産カテゴリー毎の運用戦略

【円貨債】

残高：増加

デュレーション：長期化

利回りの確保が難しくなっているが、スプレッドの乗った一般債や超長期債のウェイトを高め、利息収入の確保を図る方針

【外貨債】

残高：増加

デュレーション：やや長期化

流動性に配慮しつつ、ドル債の残高増加により利息収入増加を図る。ただし、米国金融政策の変化に応じて残高等は機動的に調整していく方針

【投資信託】

残高：増加

投資対象を分散・拡大させることにより収益機会の増加及びリスク分散を図りつつ、機動的かつ市場環境に沿った取引で収益増強を図る方針

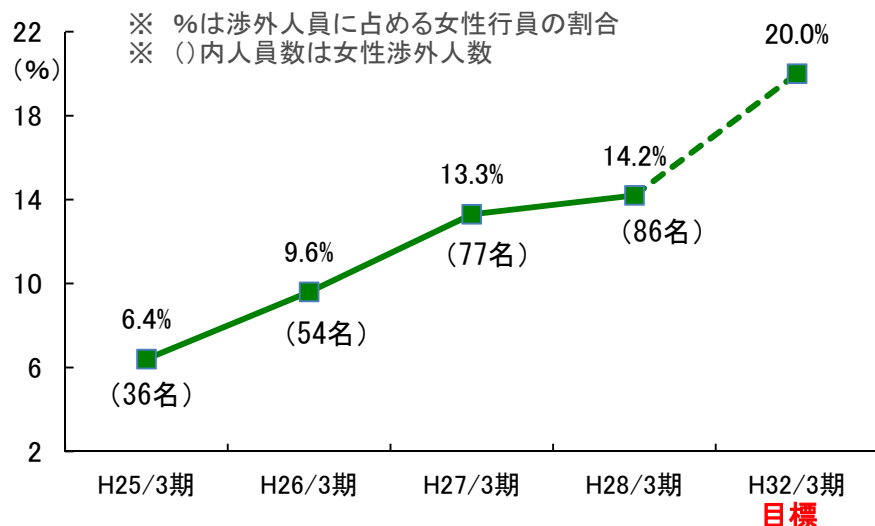
【政策株式・純投資株式】

残高：横這い

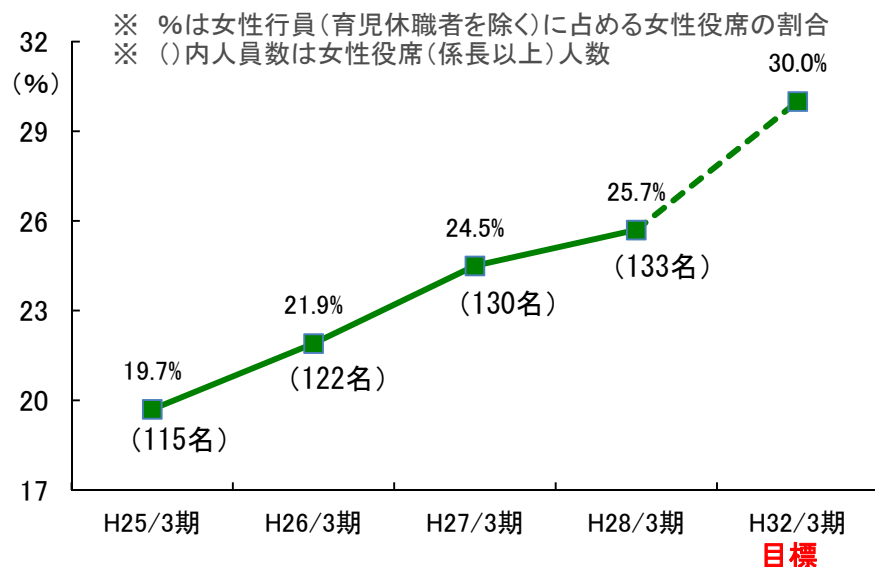
株価変動リスクは投資信託でとるため、株式の残高については基本的には抑制方針

Ⅲ. 経営戦略 (9) 高まる女性の存在感

女性行員の渉外担当比率



女性行員の役席比率



ポジティブ・アクション宣言 (平成27年4月)

これまでの取組みをより一層推進し、
女性が個々の能力を最大限発揮できる組織を構築

平成32年3月末までの取組目標

- ・渉外担当者に占める女性比率20%以上
- ・女性行員に占める役席者(係長以上)比率30%
- ・パートタイマー、嘱託、派遣社員からの
行員転換を積極的に推進

➤ 女性活躍推進チーム(チームひまわり) 平成27年8月1日結成

- ・女性の視点を活かした成長戦略の企画・検討
- ・商品開発、サービス、ワークライフバランス、
ブランド構築を具体的に推進



女性活躍への取組み

- 「あいち女性輝きカンパニー」認証
→ 女性の活躍に対して積極的に取組む
企業として評価



➤ 女性活躍推進法に基づく行動計画の策定

- ・女性行員に占める役席者比率(係長以上)30%
- ・渉外担当者に占める女性比率20%以上

社是である「地域社会の繁栄に奉仕する」という理念のもと、
愛知県に軸足を置き、地域経済の発展に注力してまいります。

ご清聴ありがとうございました



名古屋銀行イメージキャラクター「うさぎ支店長」

名古屋銀行 経営企画部 広報秘書グループ

TEL. (052) 962-7996

FAX. (052) 962-1843

URL: <http://www.meigin.com/>



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。
こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。
将来の業績は経営環境の変化等に伴い、目標対比変化し得ることに留意下さい。

資料編

資料編

(1) 利鞘と平均残高	35	(11) 有人店舗の状況	45
(2) 実質貸出利鞘の状況	36	(12) 個人向けインターネットバンキング	46
(3) 貸出金の状況(規模別・債務者区分別)	37	(13) デザインICキャッシュカード	47
(4) 貸出金の状況(業種別)	38	(14) ビジネスマッチング	48
(5) 開示債権	39	(15) 地方創生への取組み	49
(6) 債務者区分の遷移状況	40	(16) 南通市概要	50
(7) 貸倒償却引当費用の内訳	41	(17) 資本政策	51
(8) 金利リスクの推移と 住宅ローン金利タイプ別残高シェア	42	(18) 上位株主	52
(9) 金利更改までの期間	43	(19) 株主構成推移	53
(10) 有価証券評価損益	44	(20) 地域金融機関としての役割	54
		(21) 連結対象子会社と連結経営成績	55

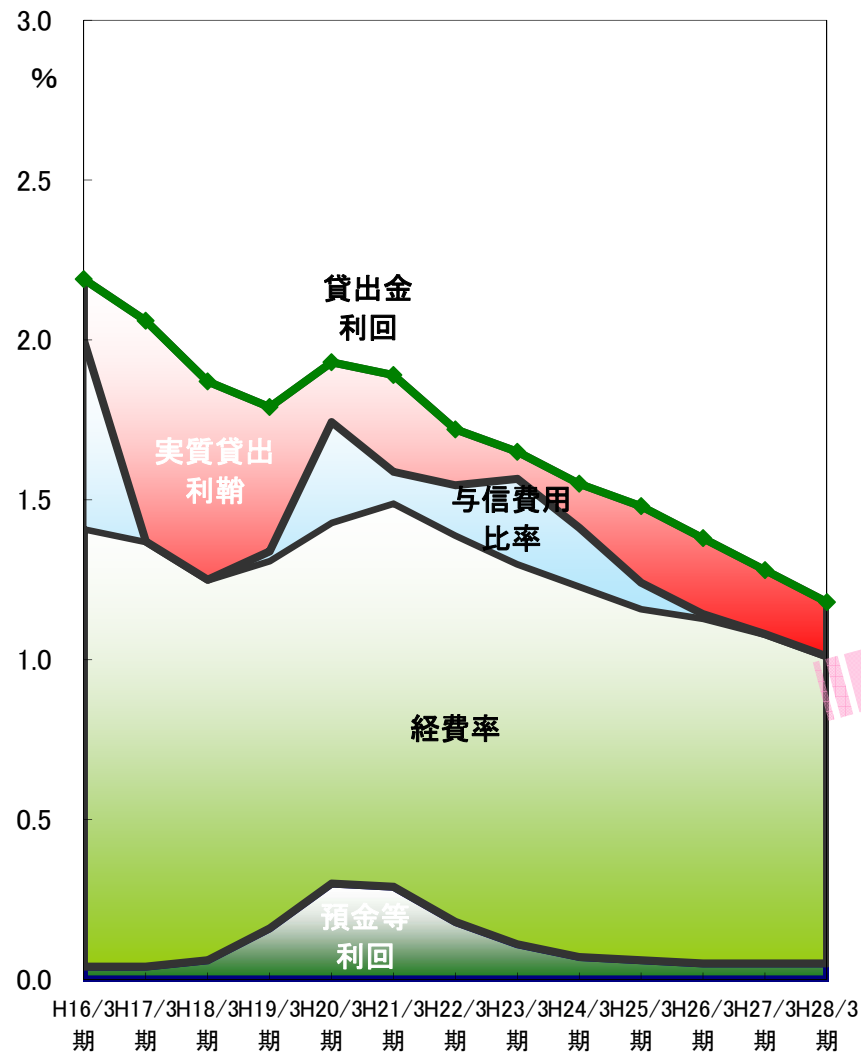
資料編 (1) 利鞘と期末残高

(単位：億円、%)

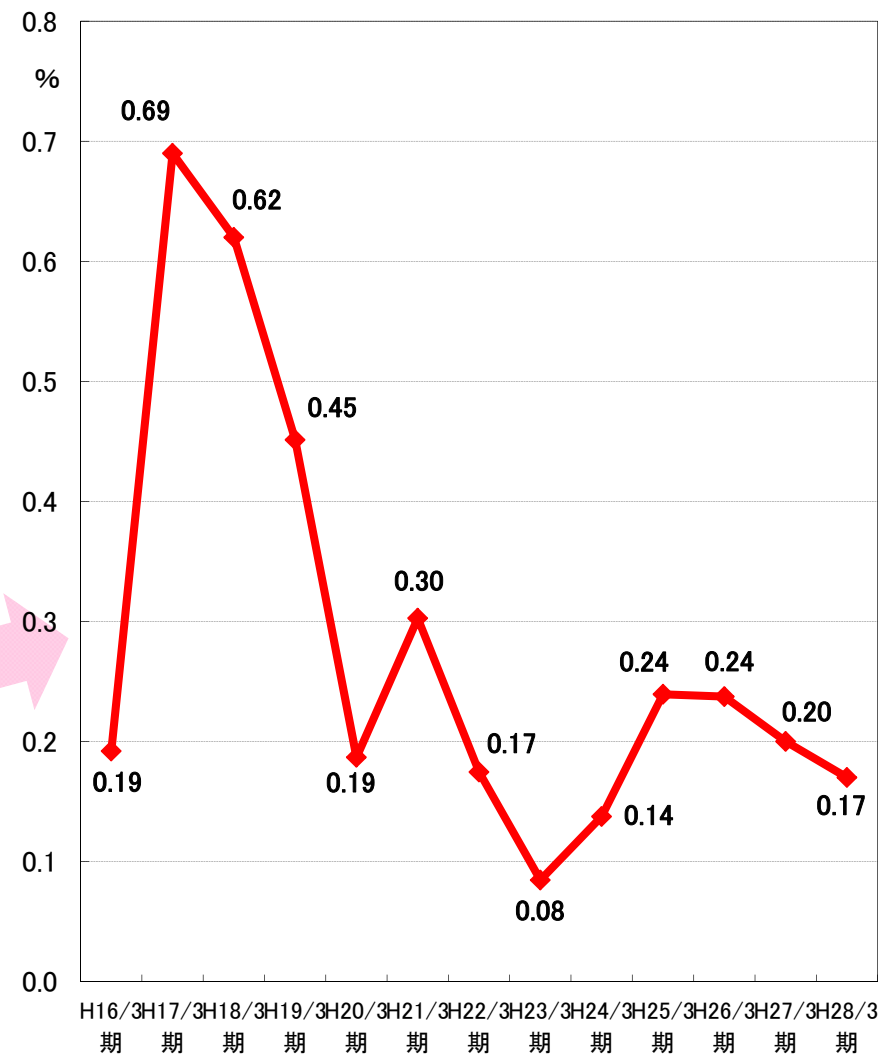
【単体】	H24/3期	H25/3期	H26/3期	H27/3期	H28/3期
資金運用利回り	1.35	1.28	1.22	1.11	1.05
貸出金利回り	1.55	1.48	1.38	1.28	1.18
有価証券利回り	0.92	0.91	0.96	0.92	0.99
資金調達原価	1.24	1.17	1.13	1.09	1.02
預金等原価	1.24	1.17	1.13	1.09	1.02
預金等利回り	0.07	0.06	0.05	0.05	0.05
経費率	1.16	1.10	1.08	1.03	0.96
預貸金利鞘	0.31	0.31	0.25	0.19	0.16
総資金利鞘	0.11	0.11	0.09	0.02	0.03
預金等（末残） 対前期末比伸び率	29,233 4.59%	29,613 1.30%	30,078 1.57%	31,500 4.73%	32,064 1.79%
貸出金（末残） 対前期末比伸び率	20,879 1.59%	20,739 ▲0.67%	21,100 1.74%	21,412 1.48%	22,409 4.66%
有価証券（末残）	8,450	9,100	9,504	9,983	9,717

資料編 (2) 実質貸出利鞘の状況

各種比率と実質貸出利鞘

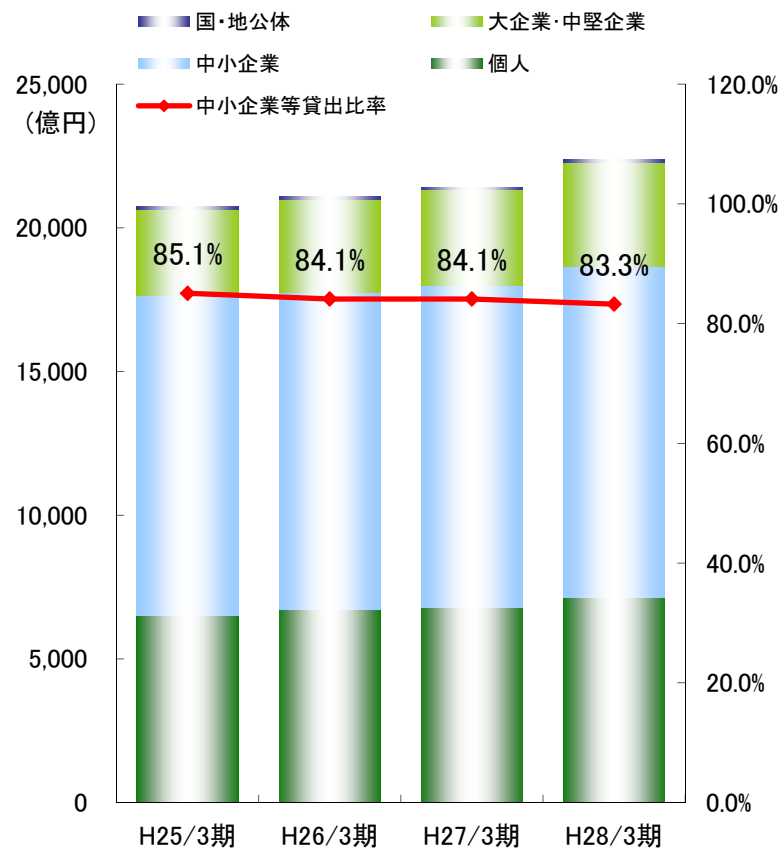


実質貸出利鞘

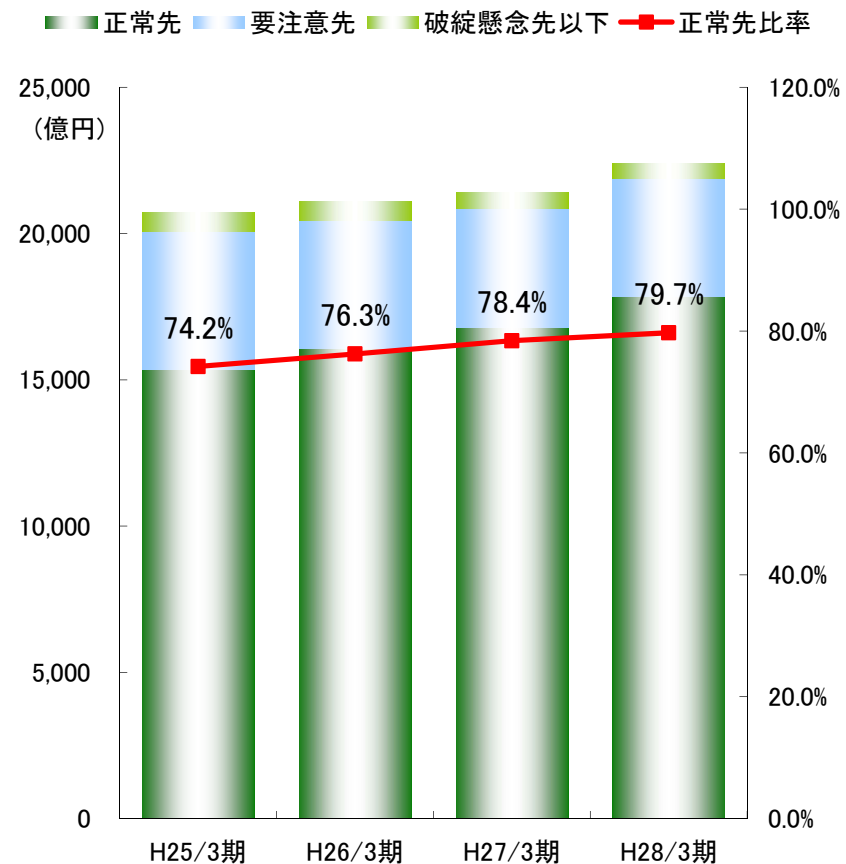


資料編 (3) 貸出金の状況(規模別・債務者区分別)

規模別残高・個人中小企業比率



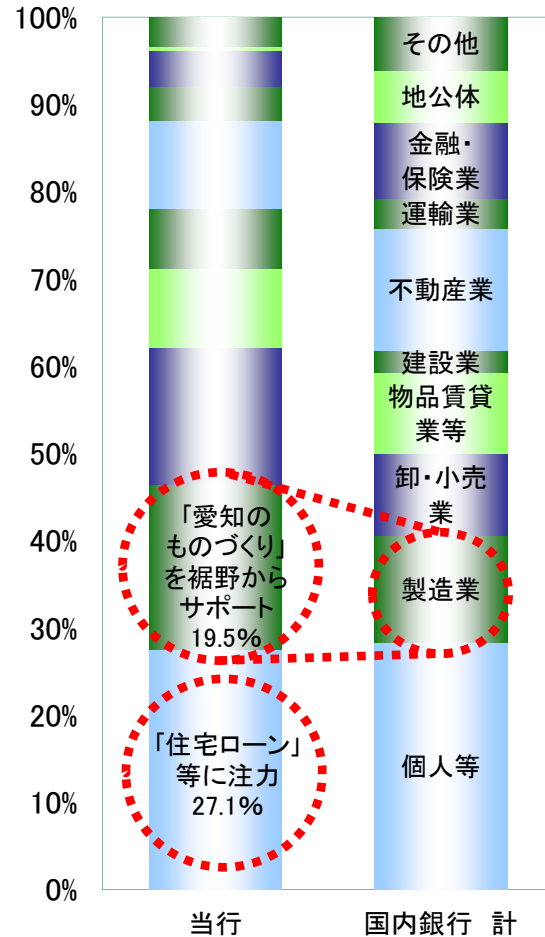
債務者区分別残高・正常先比率



※上記グラフの「個人」は、「住宅ローン(個人による貸家業貸出残高を含む)」と「その他ローン」の残高、「総合口座貸越額」等を合計したもの

資料編 (4) 貸出金の状況(業種別)

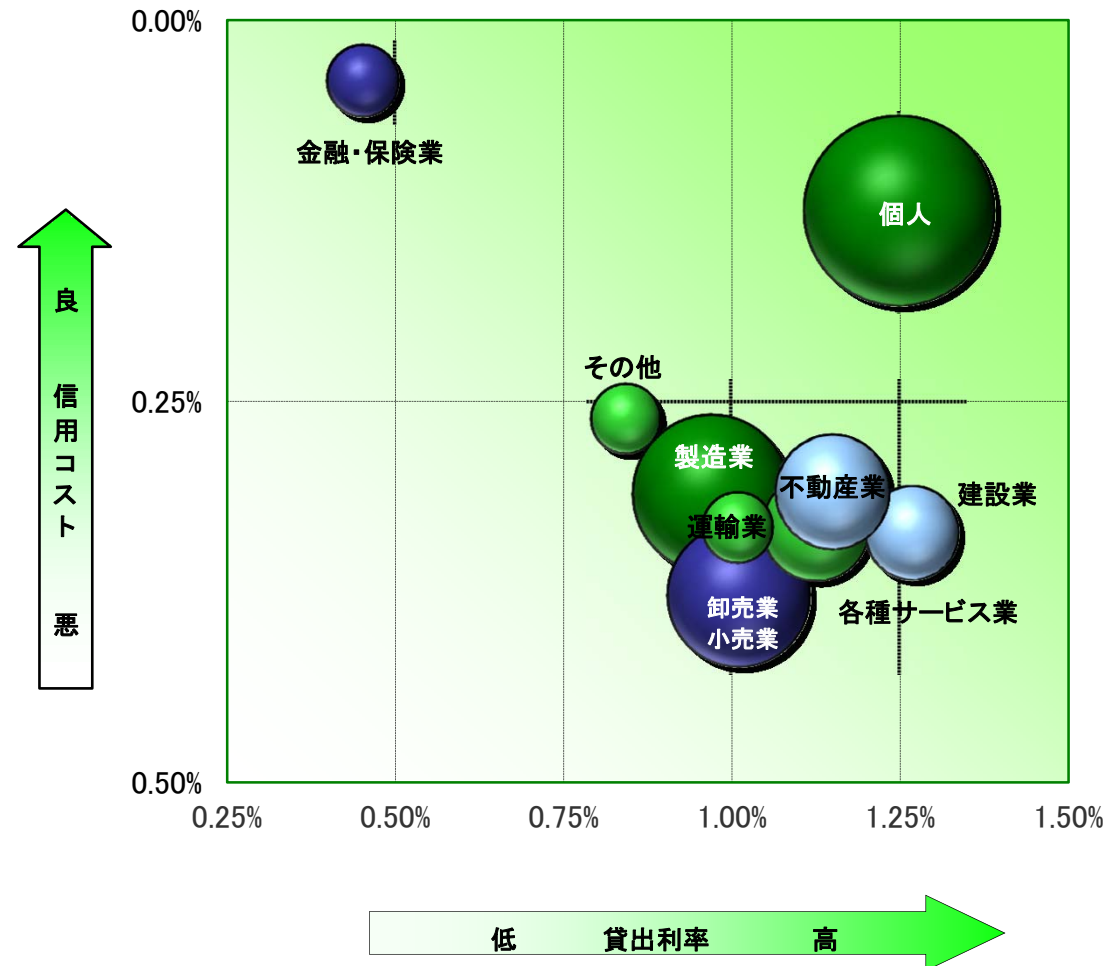
総貸出に占める業種別残高割合



H28/3期末 (出所: 日本銀行)

※上記グラフの「個人」は、「住宅ローン(個人による貸家業貸出残高を除く)」と、「その他ローン」の残高、「総合口座貸越額」等を合計したもの。
 なお、「個人による貸家業」の貸出残高は不動産業に含まれる。

業種別リスク・リターン



資料編 (5) 開示債権

【単体】

(平成28年3月期末：百万円)

自己査定結果 (対象債権：総与信)			金融再生法に基づく開示額 (対象債権：総与信及び自らの保証を付した私募債)					リスク管理債権 (対象債権：貸出金)	
債務者区分		金額	債権区分	金額	貸倒引当金	担保保証等	保全率	開示区分	金額
破綻先		1,541 <767>	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,734 <4,796>	1,938	4,796	100.00 %	破綻先債権	1,523 <762>
実質破綻先		5,192 <4,029>						延滞債権	47,615 <46,478>
破綻懸念先		42,528	危険債権	42,528	3,155	35,378	90.61 %	3ヶ月以上延滞債権	27
要注意先	要管理先	24,494	要管理債権	12,115	2,429	4,183	54.58 %	貸出条件緩和債権	12,087
			小計	61,378 <59,439>	7,523	44,358	84.53 %	合計	61,253 <59,356>
	要管理先以外の要注意先	382,222	正常債権	2,204,854	金融再生法開示債権（小計） の対象債権に占める割合 < >内は、部分直接償却実施後 2. 7 1 % < 2. 6 3 %>		リスク管理債権 の対象債権に占める割合 < >内は、部分直接償却実施後 2. 7 3 % < 2. 6 5 %>		
	正常先	1,786,296							
非分類債権		10,457	合計	2,266,232 <2,264,294>	※弊行は部分直接償却を実施しておりませんが、実施した場合の開示額を<>内に記載しております。				
合計		2,252,733 <2,250,795>							

資料編 (6)債務者区分の遷移状況

(単位：億円)

27年3月末
→28年3月末

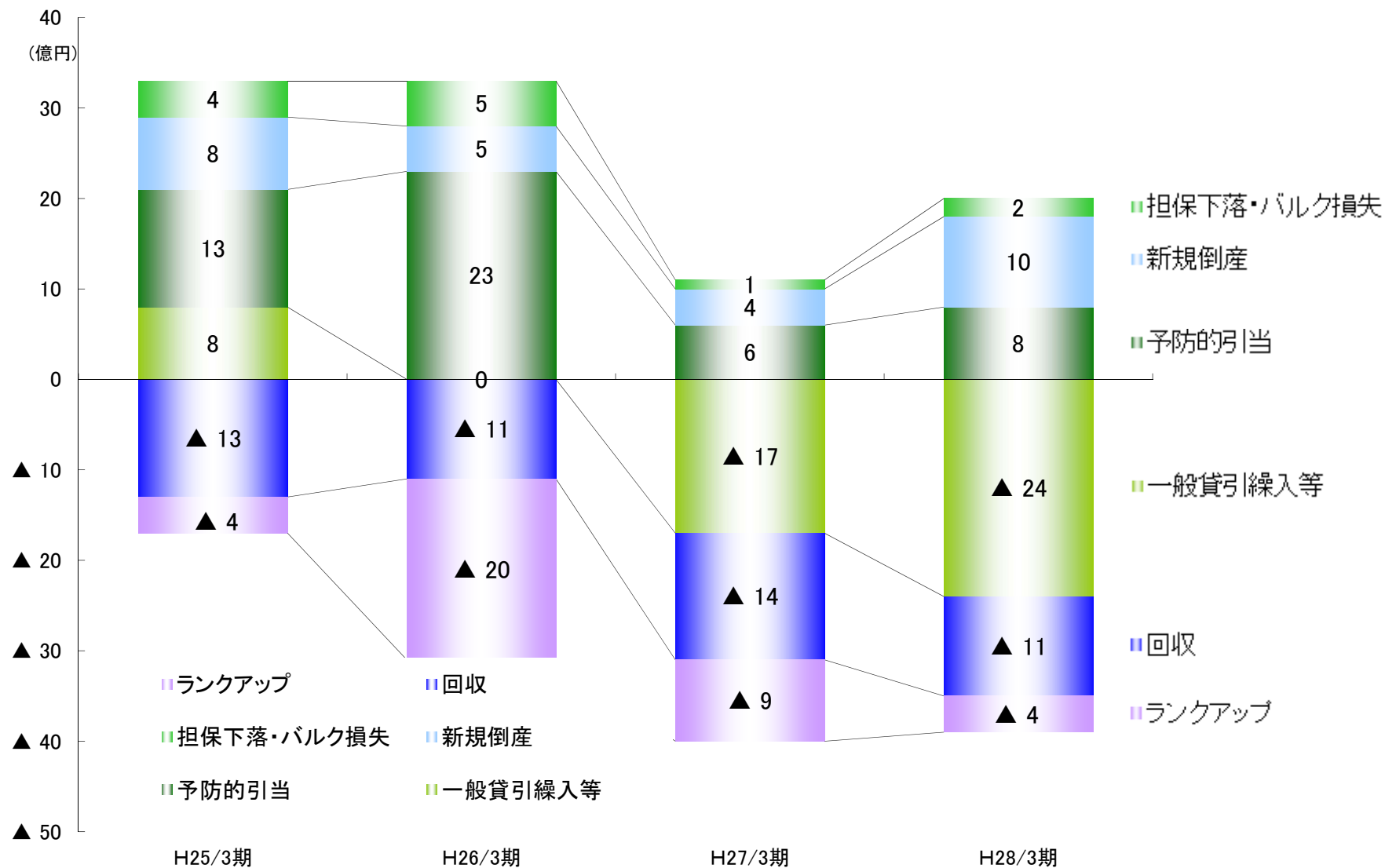
ポートフォリオの入替

経営改善
支援効果

27年3月末		28年3月末					
(億円)		正常先	その他 要注意先	要管理先	破綻懸念先	実質破綻 先以下	返済・オフ バランス化
正常先	16,909	15,804	581	1	3	4	514
その他 要注意先	3,795	554	2,906	31	46	10	247
要管理先	299	17	35	204	11	7	23
破綻懸念先	466	0	31	8	359	10	57
実質破綻先 以下	75	0	0	0	2	34	37
新規先	-	1,590	267	0	2	0	-

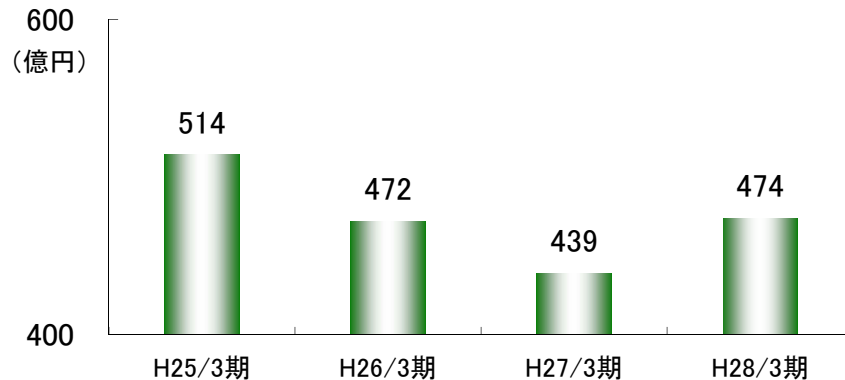
不良債権の
オフバランス化

資料編 (7) 貸倒償却引当費用の内訳



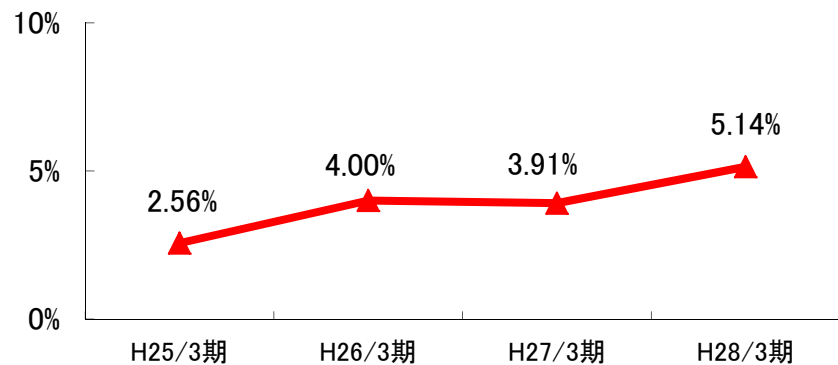
資料編 (8) 金利リスクの推移と住宅ローン金利タイプ別残高シェアの推移

100bpvの推移



【参考】円貨預貸金、円貨債券の100bpvの合計値

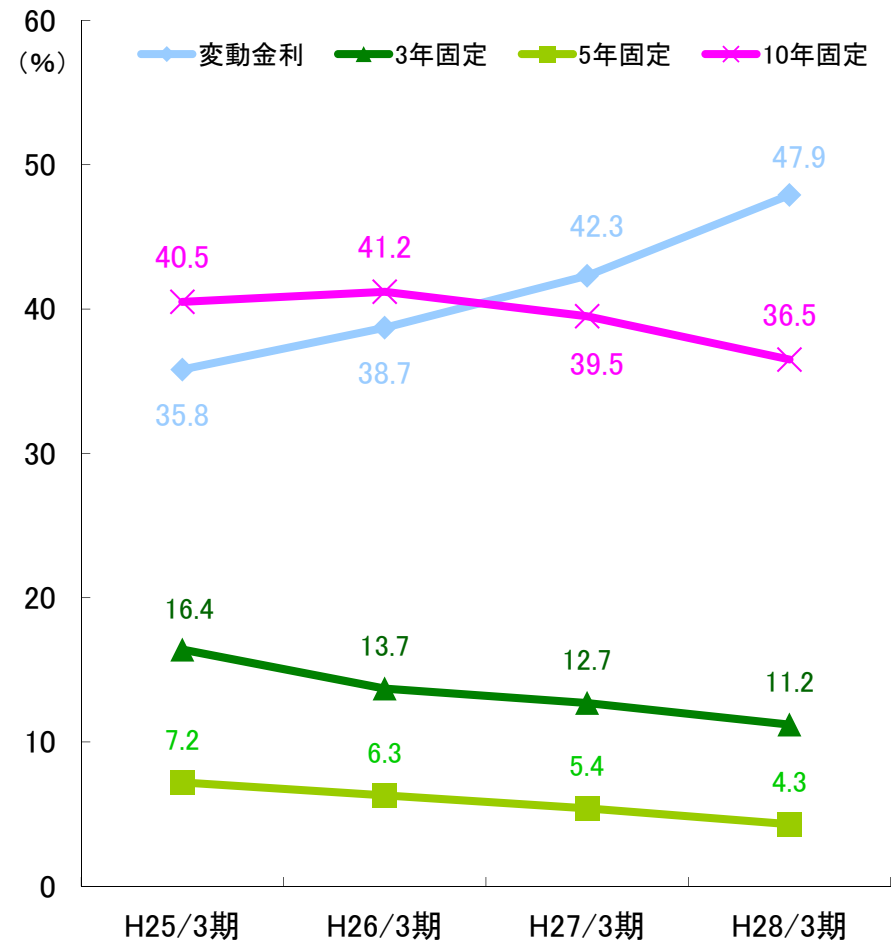
アウトライヤー比率の推移



【参考】リスク計測の算出前提 … 金利リスク÷総自己資本の額
アウトライヤー比率 … 99パーセンタイル値

※ コア預金は標準的手法（流動性預金の50%を平均2.5年で算出）

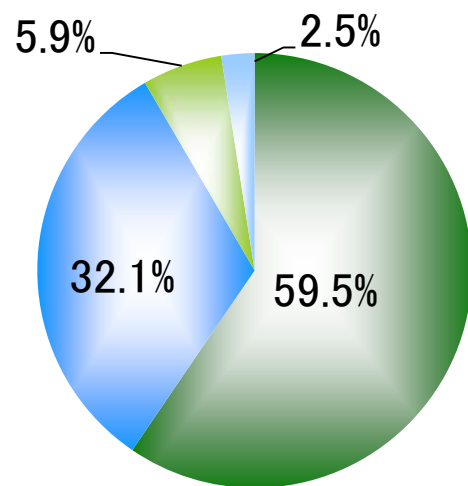
住宅ローン金利タイプ別残高シェアの推移



資料編 (9) 金利更改までの期間

調達（預金）

- 要求払
- 定期性(1年以内)
- 定期性(1年超3年以内)
- 定期性(3年超)

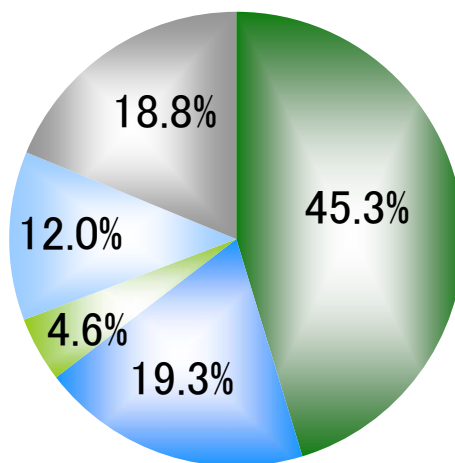


要求払預金 1.7兆円
定期性預金 1.2兆円

※ 外貨建てを除く

運用（貸出金）

- 3ヶ月以内
- 3ヶ月超6ヶ月以内
- 6ヶ月超1年以内
- 1年超3年以内
- 3年超

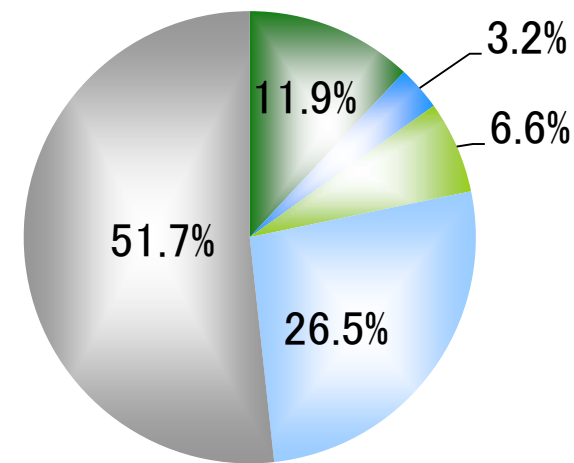


貸出金 2.1兆円

※ 外貨建てを除く

運用（有価証券）

- 3ヶ月以内
- 3ヶ月超6ヶ月以内
- 6ヶ月超1年以内
- 1年超3年以内
- 3年超



有価証券 0.8兆円

※ 外貨建てを除く

資料編 (10) 有価証券評価損益

有価証券の評価損益

(億円)

	H27／3期末		H28／3期末		前期末比	
	取得 原価	評価 損益	取得 原価	評価 損益	取得 原価	評価 損益
債 券	7,364	81	7,163	117	▲200	36
国債	2,575	27	1,884	39	▲691	12
地方債	959	13	1,082	20	123	6
政保債・公社公団債	2,013	23	2,278	36	265	12
金融債・事業債	1,815	16	1,918	20	102	4
株 式	574	836	559	612	▲14	▲223
政策投資	570	835	552	612	▲18	▲222
純投資	3	0	7	▲0	3	▲0
そ の 他	1,107	19	1,252	11	145	▲8
外国証券(円貨建)	158	0	126	▲0	▲32	▲1
外国証券(外貨建)	861	14	1,002	17	141	2
投信他	88	5	124	▲5	35	▲10
合 計	9,045	937	8,975	741	▲70	▲195

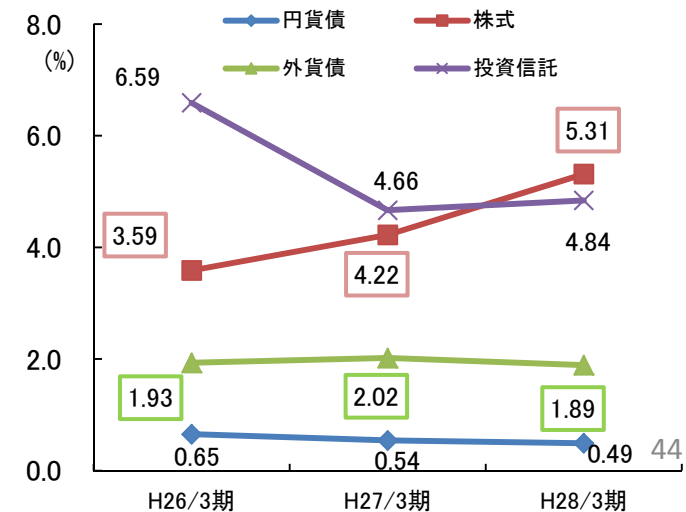
(注) 満期保有目的の債券はなし

債券5勘定と株式3勘定

(百万円)

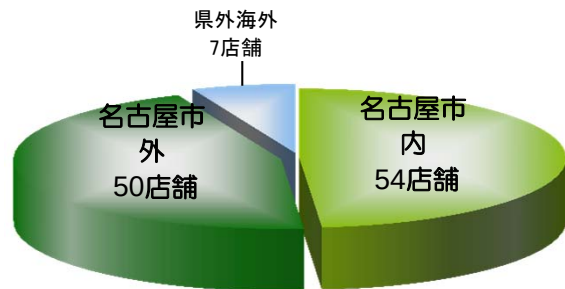
	H27/3期	H28/3期
国債等債券関係損益	738	541
売却益・償還益	812	759
売却損・償還損	▲74	▲215
償却	—	▲2
株式等関係損益	108	620
売却益	135	677
売却損	▲21	▲53
償却	▲4	▲4

資産カテゴリー毎の利回り推移



資料編 (11) 有人店舗の状況

店舗数



(平成28年3月期末現在)

【平成27年度実績】

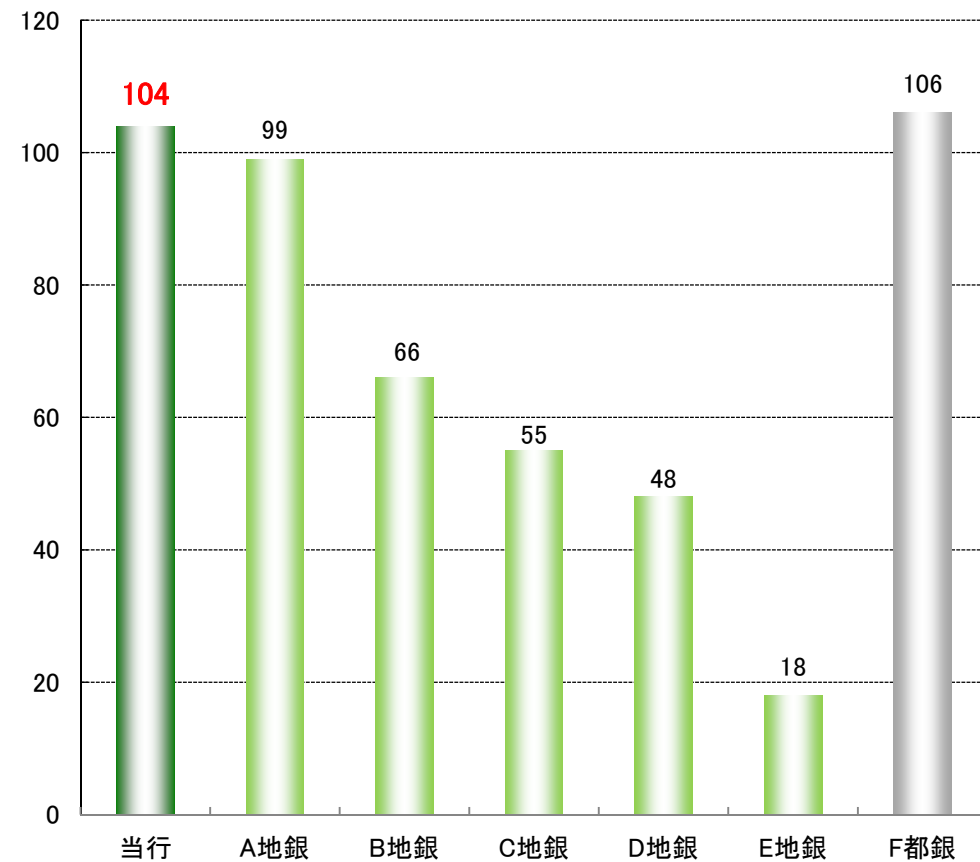
平成28年3月14日
木場支店リニューアルオープン

【今後の予定】

平成29年春頃予定
豊橋支店リニューアルオープン

【近隣地方銀行の愛知県内店舗数】

【参考】



※ 平成28年3月期末現在 弊行調べ

資料編 (12) 個人向けインターネットバンキング

個人向けインターネットバンキングサービス



平成27年1月23日(金)サービス開始

bankstageの特徴

- ・使いやすい画面設計とシンプルな導線
- ・トップページがカレンダー兼通帳表示
- ・**通帳なし、印鑑なし、来店なしで口座開設可能**（インターネット支店の場合）
- ・店舗口座の方もインターネット専用商品の購入が可能
- ・**おしゃれなマスターがいるDream Drip Bar(貯金箱)を用意**

3パターンの利用申込方法

⇒いずれの場合も同じサービスを受ける事が可能

①
インターネット
支店で新
規口座を開
設する方

②
既に口座を
お持ちの方

③
新規口座を
店舗で
開設する方

bankstageの便利な機能

カレンダー機能＋通帳表示

お金とスケジュールの管理を同時に行うことができます。

定型振込(自動振込予約)機能

家賃や仕送りなど、毎月決まった金額の振込登録が可能。

外貨預金相場指定機能

外貨普通預金では取引の希望相場を指定することが可能。

メール通知機能

ATMからの引き出しや振込入金等があった場合にお知らせします。

ポートフォリオ機能

ご自身の資産状況を一目で確認することができます。

貯金箱機能(Dream Drip Bar)

目標の金額や期限を設定できる貯金箱機能。
目標を達成したら何が起こるかは楽しみ♪



資料編 (13) デザインICキャッシュカード

デザイン一覧



デザインコンクール受賞作品

平成28年12月30日までの期間限定のお取扱い



大学コラボレーションデザイン



東山動植物園コラボレーションデザイン

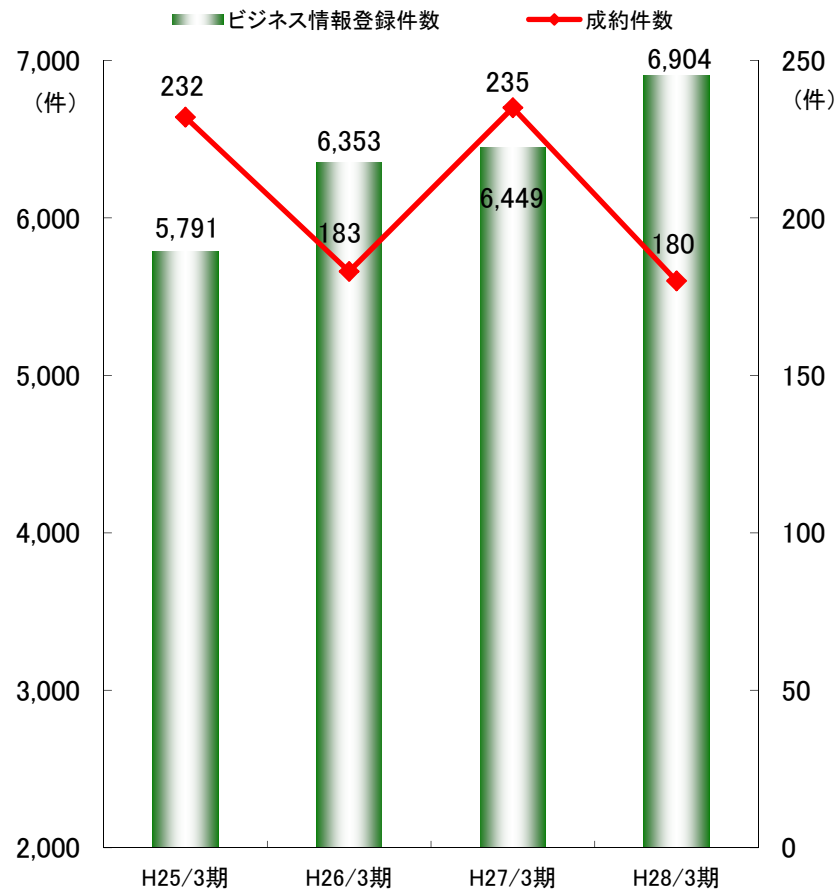


資料編 (14) ビジネスマッチング

ビジネスマッチング

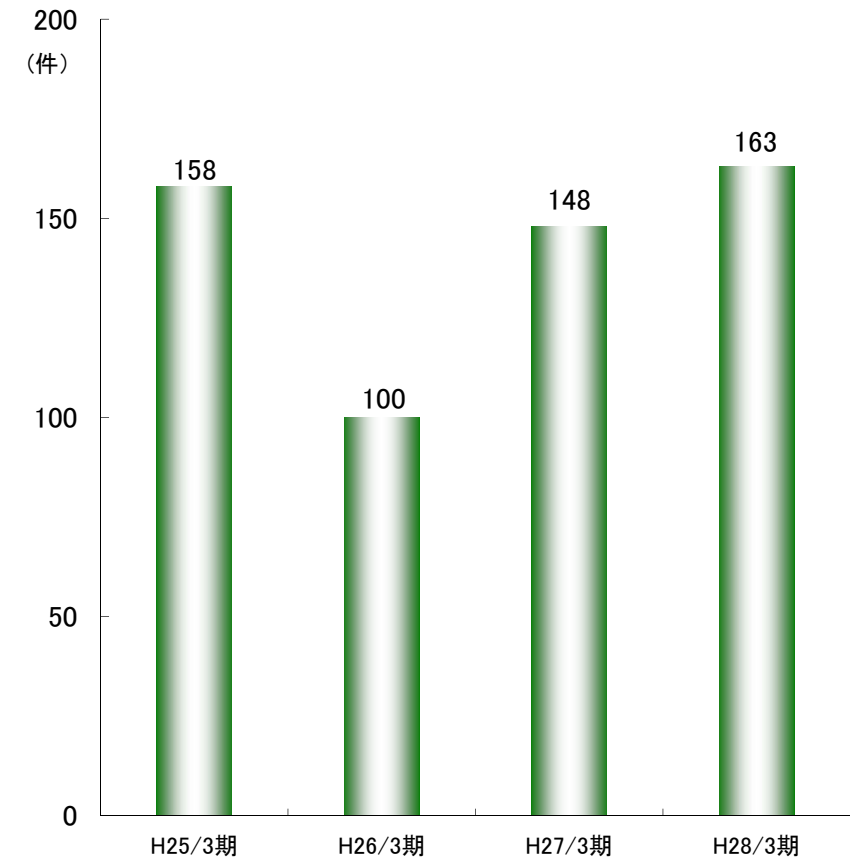
◆ ビジネス情報支援サービス

弊行のお客さま同士を紹介

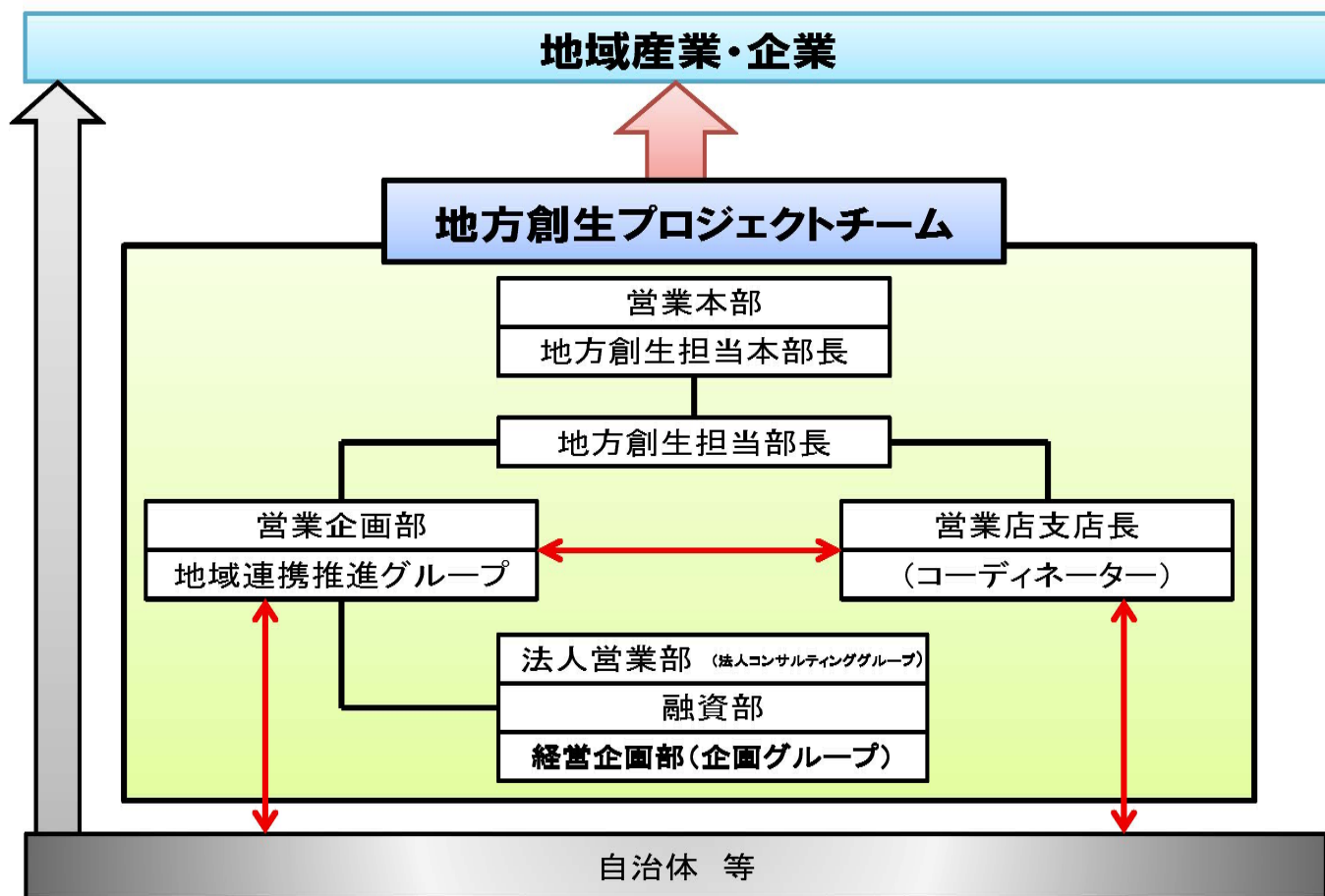


◆ ビジネス・ニーズ・マッチングサービス

取引先のニーズに基づき、提携企業を紹介



資料編 (15) 地方創生への取り組み



【連携先 7市13団体】 順不同

岡崎市、一宮市、碧南市、犬山市、小牧市、尾張旭市、半田市、（公財）あいち産業振興機構、名古屋商工会議所、岡崎商工会議所、春日井商工会議所、愛知県商工会連合会、小牧商工会議所、碧南商工会議所、稲沢商工会議所、江南商工会議所、犬山商工会議所、東海商工会議所、安城商工会議所、津島商工会議所
（平成28年3月末現在）

資料編 (16) 南通市概要

南通市（江蘇省）について

1. 基本データ

面積・・・8,544Km²（愛知県の約1.5倍）、人口・・・730万人、GDP・・・6,148億元（2015年）

2. 南通市の概要

(1) 地理

南通市は江蘇省南部に位置し、南は長江、東は黄海に接し、上海の北北西100kmに位置。

北緯31° 40′、東経120° 10′（長崎と同緯度）

地形は平坦で、低い山が点在、気候は亜熱帯モンスーンで、四季の区別あり。

(2) 産業経済概要

繊維、建設、化学、造船が主要産業。中国最初の14沿海開放都市の一つ。

中国近代工業発祥の地として有名。

(3) 投資環境

国家級の南通経済技術開発区がある。

また市内にそれぞれ特色を持った15の開発区がある。

(4) 南通の日系企業誘致傾向

80～90年代は、綿花の産地で繊維が中心 東レ、帝人、三菱レイヨンなど

2000年代は化学製品等が中心 DIC、旭化成、王子製紙など

2010年代は電子・自動車関係を誘致開始 アイシン精機、昭和電工など

<主な指標比較>

出所：2015年経済指標

	年末常住人口	域内総生産 (GDP)	経済成長率
江蘇省	7,960万人	70,116億元	8.5%
南通市	730万人	6,148億元	9.6%
蘇州市	1,062万人	14,504億元	7.5%
無錫市	651万人	8,518億元	7.1%
上海市	2,415万人	24,965億元	6.9%



資料編 (17) 資本政策

米ドル建てＣＢの発行

発行の概要

発行額	1億米ドル
発行日	平成27年3月26日
償還期限	平成32年3月26日
クーポン	0%（ゼロコスト）
発行の目的	法人取引先の海外進出や海外事業の拡大などを背景とした外貨建て貸出金需要の高まりへの対応など、投融資資金に充当。

自己株式の取得

取得対象株式の種類	普通株式
取得した株式の総数	7,500,000株
取得日	平成27年3月11日
取得を行った目的	資本効率の向上を通じて、株主の皆さまへの利益還元の充実を図るため。

※ 発行済株式総数 205,054,873株

資料編 (18) 上位株主

平成27年3月期末

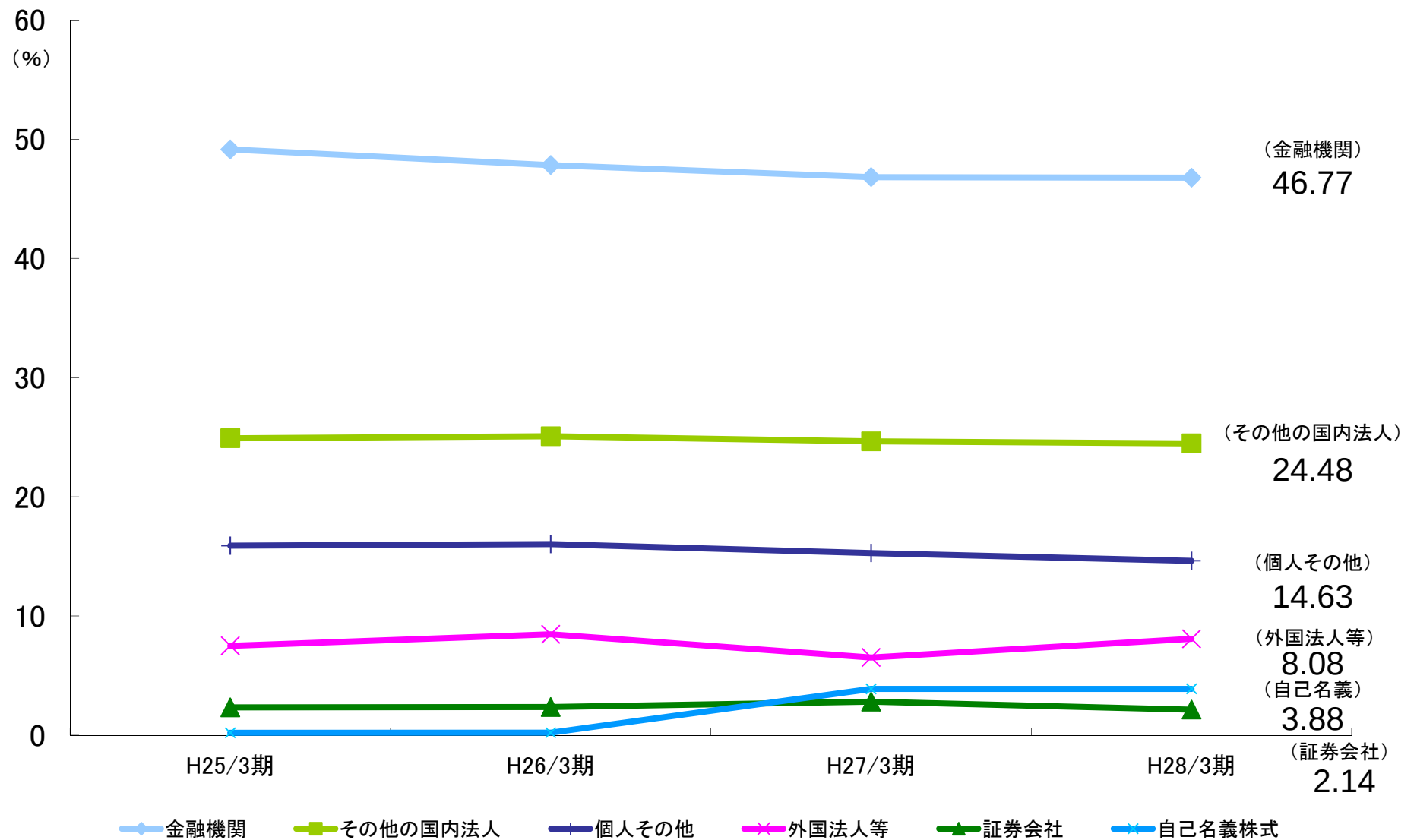
株主名	株数 (千株)	持株 比率
株式会社三井住友銀行	10,330	5.03%
株式会社みずほ銀行	8,432	4.11%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	7,650	3.73%
名銀みのり会（自社従業員持株会）	7,594	3.70%
日本生命保険相互会社	7,264	3.54%
明治安田生命保険相互会社	7,261	3.54%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (トヨタ自動車口)	5,844	2.84%
住友生命保険相互会社	5,163	2.51%
三井住友海上火災保険株式会社	4,497	2.19%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	4,079	1.98%

平成28年3月期末

株主名	株数 (千株)	持株 比率
株式会社三井住友銀行	10,330	5.03%
株式会社みずほ銀行	8,432	4.11%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	7,948	3.87%
日本生命保険相互会社	7,264	3.54%
名銀みのり会（自社従業員持株会）	7,263	3.54%
明治安田生命保険相互会社	7,261	3.54%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (トヨタ自動車口)	5,844	2.84%
住友生命保険相互会社	5,163	2.51%
三井住友海上火災保険株式会社	4,097	1.99%
株式会社十六銀行	4,074	1.98%

(注) 上記のほか、自己株式が7,974,397株あります。

資料編 (19)株主構成推移



資料編 (20) 地域金融機関としての役割

愛知県内6大学との連携・協力

愛知県内6大学と「人材育成に関わる連携協定」を締結

- 平成27年2月23日締結（愛知大学は平成25年11月29日締結済み）

愛知大学
愛知淑徳大学
中京大学
名古屋学院大学
南山大学
名城大学



- 問題解決型学習プログラムを実施

就業体験型プログラム

: 長期有償型インターンシップ

企画体験型プログラム

: 新規サービスモニター

営業体験型プログラム

: 講義 & フィールドワーク



地域金融機関として地元学生の育成に関わり、将来その人材が地域経済を活性化させる担い手となる取組み

ボランティア活動

- スペシャルオリンピックス日本・愛知 第5回ジョギングフェスティバル
- スペシャルオリンピックス東海・北信越ブロック大会in愛知
- マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2016

グリーン財団

- 学校緑化: 延べ504、校公共施設緑化: 52施設（平成28年3月まで）

東山動植物園との企画

「東山動植物園再生プランに関する連携と協力の協定」

- 平成23年3月23日締結
- 「東山動植物園応援定期預金」の実績に応じ協力金を提供
平成27年 100万円
- 「東山動植物園応援定期預金」お預けいただいたお客さまの中から抽選で、年2回（春・秋）のプレゼントや特別企画動物園ツアーにご招待。



名古屋銀行キッズサッカー教室

当行の創立60周年記念事業として平成21年より毎年開催。
名古屋グランパスのスクールコーチによるサッカー教室と、親子ペア観戦券プレゼントを実施。

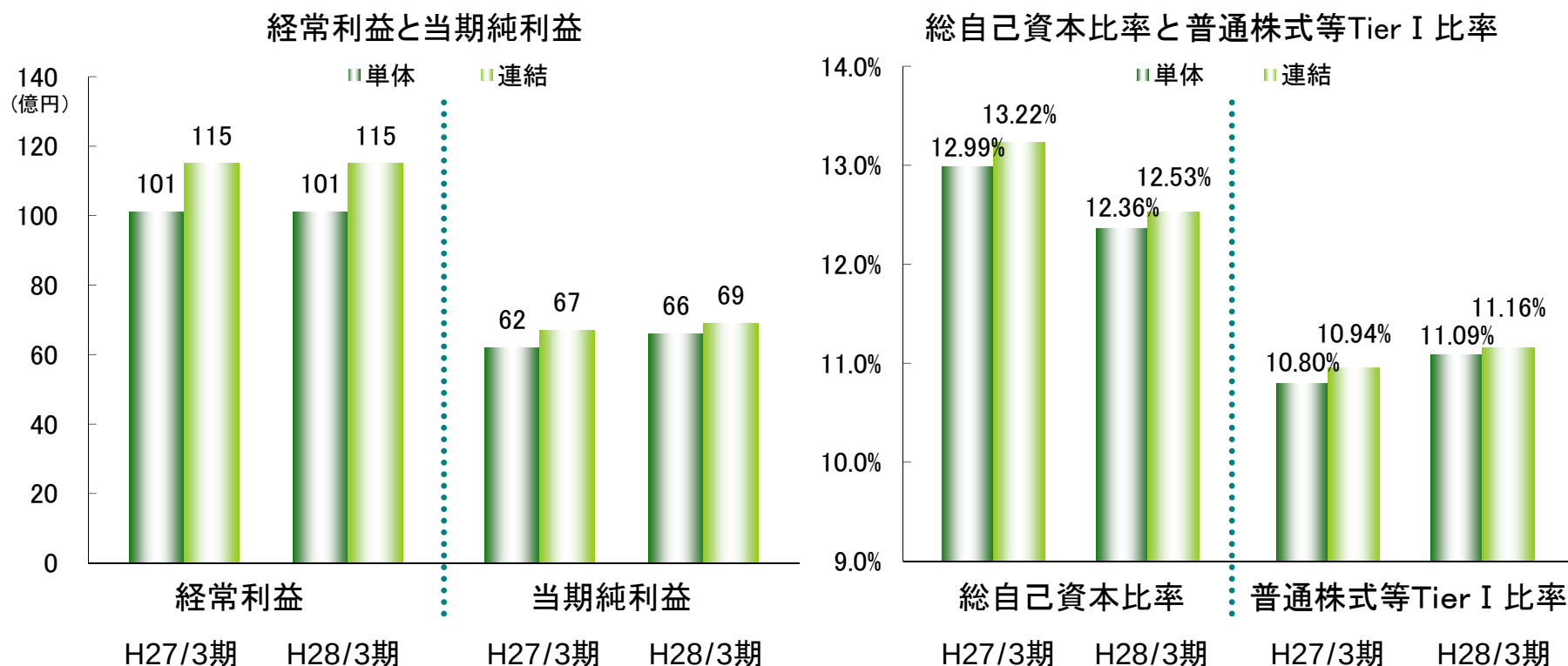


名古屋銀行チャリティーコンサート

- 昭和57年より毎年開催し、これまでに34回開催
- 第28回よりチャリティー方式とし、売上金は全額寄付
- 平成27年11月18日に開催の際は180万円を寄付



資料編 (21) 連結対象子会社と連結経営成績



連結対象子会社

名古屋リース

名古屋カード

名古屋ビジネスサービス

名古屋エム・シーカード

※ 名古屋銀行は100%出資子会社であった名銀不動産調査株式会社を平成28年1月1日に吸収合併いたしました